第24回 日本訪問歯科医学会

2024.11.10 SUN 10:15～16:30
富士ソフトアキバプラザ

プログラム・抄録集

ひろがる笑顔　訪問歯科の未来

教育講演１ ● 訪問歯科で意識したい背景疾患と薬剤
教育講演２ ● 在宅医療における「三位一体」の取り組みの在り方
特 別 講 演 ● 訪問歯科と行動経済学

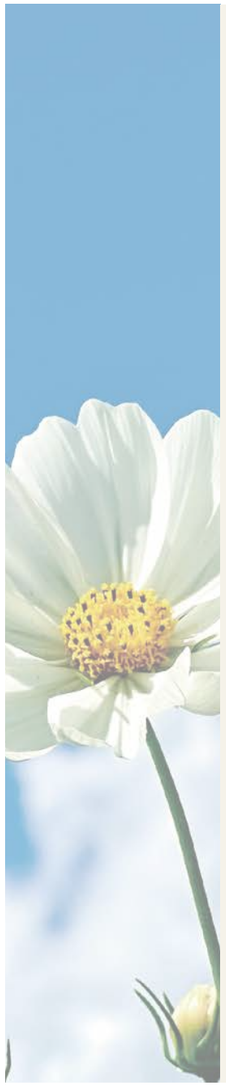
ランチョンセミナー / 会員口演発表 / ポスター発表

〔同時開催〕専門セミナー

症例研究会　これからの摂食嚥下リハビリテーション1、2
症例研究会　訪問診療での義歯治療
実践 ミールラウンド
デモ講座　訪問歯科診療でのVEの有用性1、2
検証 診療報酬改定後の歯科訪問診療
理論で解決！離職防止と社員育成の為のメソッド
成功する歯科衛生士採用の秘訣
訪問診療おもてなし向上「元年」
45分でわかる 連携関連の報酬
診療報酬改定 新設項目の再確認
訪問歯科 管理料の研究
実習講座　摂食嚥下リハの実際
実習講座　スポンジブラシの選び方と使い方
実習講座　嚥下を促す表情筋マッサージ
実習講座　機能評価をしながらおこなう口腔清拭
実習講座　診療情報提供書の書き方・読み方1、2



一般社団法人
日本訪問歯科協会



第24回 日本訪問歯科医学会　プログラム・抄録集
「ひろがる笑顔　訪問歯科の未来」

02	日本訪問歯科医学会 学会長 ご挨拶
03	会場案内
05	プログラム
07	参加者の手引き
10	デモ講座・実習講座 整理券の配布について
11	教育講演１「訪問歯科で意識したい背景疾患と薬剤 ～治療とケアの判断に迷ったら!～」
13	教育講演２「在宅医療における「三位一体」の取り組みの在り方」
15	特別講演「訪問歯科と行動経済学」
17	ランチョンセミナー1「IOSを用いたポリフレックスデンチャーの紹介」
19	ランチョンセミナー2「口腔健康管理に新たな戦略を ～S-PRGが拓く新たな予防歯科～」
21	ランチョンセミナー3「ご存知ですか？錠剤嚥下障害」
22	会員口演
26	ポスター発表
29	同時開催 専門セミナー
43	出展企業一覧
45	協賛企業一覧

ご　挨　拶



日本訪問歯科医学会
学会長 野坂 洋一郎

このたび、2024年11月10日（日）に第24回日本訪問歯科医学会を開催させていただくことになりました。

今回は、メインテーマを「ひろがる笑顔　訪問歯科の未来」とし、今後の訪問歯科の在り方を考える機会になればと考えております。

プログラムとしては、教育講演１では公立能登総合病院 歯科口腔外科部長の長谷剛志に「訪問歯科で意識したい背景疾患と薬剤」というテーマで講演していただきます。

教育講演２として、医療法人社団　悠翔会　理事長・診療部長の佐々木淳先生より「在宅医療における「三位一体」の取り組みの在り方」というテーマで講演していただきます。

特別講演として、青森大学　客員教授の竹林正樹先生に「訪問歯科と行動経済学」というテーマで講演していただきます。

また、同時開催セミナーとして、訪問歯科に関する全23セッションの専門セミナーを開催いたします。

さらに、各地域で活動している会員の歯科医院による会員口演・ポスター発表も実施するなど、充実した内容となっております。

今回の日本訪問歯科医学会が、訪問歯科診療に取り組まれる皆様にとって有意義な医学会になり、訪問歯科診療のさらなる前進に繋がりますように、皆様のご協力とご参加をよろしくお願い申し上げます。

会場案内

5F

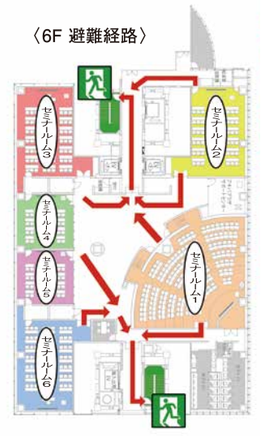


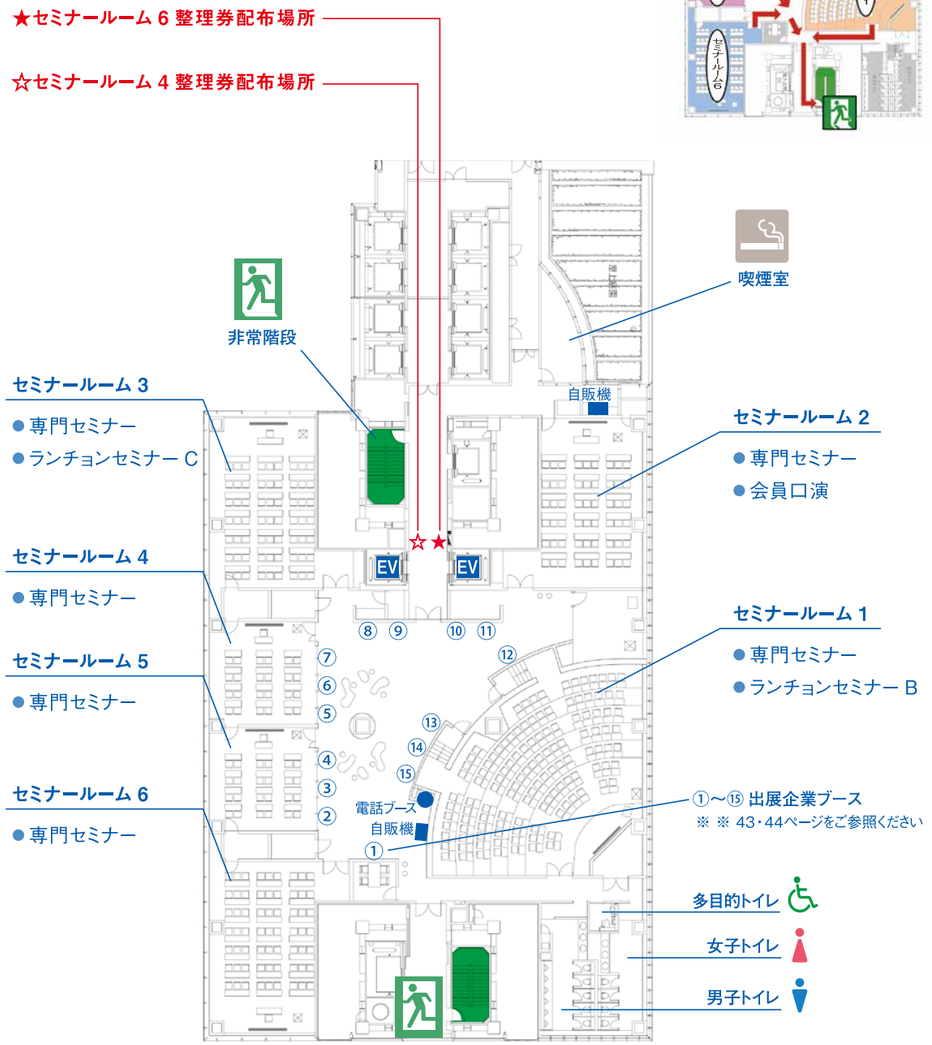
〈アキバホール避難経路〉

〈避難経路〉

6F

〈6F 避難経路〉





第24回 日本訪問歯科医学会 プログラム

11/10（日）	【5F】アキバホール	【6F】セミナールーム1	【6F】セミナールーム2	【6F】セミナールーム3
9:00	9:00〜9:30 第25回日本訪問歯科協会 総会			
9:30			9:30〜10:15【専門セミナー】 45分でわかる 連携関連の報酬 伊藤 友記 氏	
10:00	10:15〜10:30 開会式	9:45〜10:30【専門セミナー】 成功する歯科衛生士採用の秘訣 森 聡 氏		9:45〜10:30【専門セミナー】 症例研究会 これからの摂食嚥下リハビリテーション 1 戸原 玄 氏
10:30	10:30〜11:30【教育講演1】 訪問歯科で意識したい背景疾患と薬剤 〜治療とケアの判断に迷ったら!〜 長谷 剛志 氏		10:45〜11:30【専門セミナー】 診療報酬改定 新設項目の再確認 髙井 恵太 氏	
11:00		11:00〜11:45【専門セミナー】 検証 診療報酬改定後の歯科訪問診療 加地 彰人 氏		11:00〜11:45【専門セミナー】 症例研究会 これからの摂食嚥下リハビリテーション 2 戸原 玄 氏
11:30				
12:00	12:10〜12:50【ランチョンセミナーA】 IOSを用いたポリフレックスデンチャーの紹介 守口 和 氏	12:10〜12:50【ランチョンセミナーB】 口腔機能管理に新たな戦略を 〜S-PRGが拓く新たな予防歯科〜 弘中 祥司 氏		12:10〜12:50【ランチョンセミナーC】 ご存知ですか? 錠剤嚥下障害 廣瀬 知二 氏
12:30				
13:00		13:15〜14:00【専門セミナー】 理論で解決!離職防止と社員育成の為のメソッド 梶山 啓介 氏	13:00〜13:45【会員口演】	13:15〜14:00【専門セミナー】 症例研究会 訪問診療での義歯治療 〜訪問診療の立案をふまえて〜 飯田 良平 氏
13:30	13:45〜14:45【教育講演2】 在宅医療における「三位一体」の取り組みの在り方 佐々木 淳 氏			
14:00			14:15〜15:00【専門セミナー】 訪問歯科 管理料の研究 田中 貴秀 氏	
14:30		14:30〜15:15【専門セミナー】 実践 ミールラウンド 阪口 英夫 氏		14:30〜15:15【専門セミナー】 訪問診療おもてなし向上「元年」 船山 高明 氏
15:00				
15:30	15:25〜16:25【特別講演】 訪問歯科と行動経済学 竹林 正樹 氏			
16:00				
16:30	16:25〜 表彰・閉会式			

※ プログラムは変更することもございます。予めご了承ください。

【6F】セミナールーム4	【6F】セミナールーム5	【6F】セミナールーム6	【5F】レセプションホールAB	【5・6F】ロビー
9:30〜10:15【専門セミナー】 〈デモ講座〉 訪問歯科診療でのVEの有用性 1 大久保 正彦 氏	9:45〜10:30【専門セミナー】 〈特別実習講座〉 摂食嚥下リハの実際 舘村 卓 氏	9:30〜10:15【専門セミナー】 〈実習講座〉 スポンジブラシの選び方と使い方 齋藤 しのぶ 氏		
10:45〜11:00【専門セミナー】 〈デモ講座〉 訪問歯科診療でのVEの有用性 2 大久保 正彦 氏	11:00〜11:45【専門セミナー】 〈特別実習講座〉 スポンジブラシの選び方と使い方 齋藤 しのぶ 氏	10:45〜11:30【専門セミナー】 〈実習講座〉 摂食嚥下リハの実際 舘村 卓 氏	コーヒーサービス ポスター発表 スマイルフォトコンテスト アキバホール中継	
13:00〜13:45【専門セミナー】 〈実習講座〉 診療情報提供書の書き方・読み方 1 深山 治久 氏	13:15〜14:00【専門セミナー】 〈特別実習講座〉 機能評価をしながらおこなう口腔清拭 和田 ひとみ 氏	13:00〜13:45【専門セミナー】 〈実習講座〉 嚥下を促す表情筋マッサージ 平松 満紀美 氏		企業出展
14:15〜15:00【専門セミナー】 〈実習講座〉 診療情報提供書の書き方・読み方 2 深山 治久 氏	14:30〜15:15【専門セミナー】 〈特別実習講座〉 嚥下を促す表情筋マッサージ 平松 満紀美 氏	14:15〜15:00【専門セミナー】 〈実習講座〉 機能評価をしながらおこなう口腔清拭 和田 ひとみ 氏	15:10〜15:25 ポスター発表 審査 15:30 スマイルフォト投票〆	

※ プログラムは変更することもございます。予めご了承ください。

参加者の手引き

■ 入場証について

● 受付での提示

受付は5階レセプションホール内にあります。受付でQRコードをリーダーで読み取り、事前に参加登録いただいた情報と照合します。確認が取れましたら、入場証とホルダーをお渡しいたします。入場証がないと会場に入れませんので、会期中は常に身に着けてください。入場証を入れるホルダーは返却不要です。終了後はお持ち帰りください。

● 展示ブースでの提示

各展示ブースのスキャナに入場証のQRコードを読み込ませると、後日、その企業から製品の案内を受け取ることができます。そのため、QRコードを読み込ませた展示ブースの企業には、医学会お申込時の登録情報（氏名、医院名、郵便番号、住所、職種名、TEL番号、Emailアドレス）が当該出展者に提供されますので、予めご了承ください。

● 6階 セミナールーム5 特別実習講座 会場入口での提示（特別実習講座パスをお持ちの方のみ）

セミナールーム5では、特別実習講座を開催します。当講座には、特別実習講座パスをお持ちの方のみがご参加いただけます。特別実習講座パスをお持ちかどうかを確認しますので、会場入口で入場証をご提示ください。

■ クロークについて

クロークは5階にあります。大きな荷物は会場内に置けませんので、クロークへお預けください。
なお、貴重品はお預かりできませんので、予めご了承ください。

■ コーヒーサービスについて

5階のレセプションホールでは、8時30分から温かいコーヒーとお菓子を用意しております。受付の混雑を避けるためにお早めにご来場くださった方は、受付手続き後にお召し上がりください。
当サービスはセルフサービスです。また、コーヒーとお菓子の数には限りがありますので、ご了承ください。

■ 非常階段ご利用のお願い

5階と6階の行き来の際には、できるだけ非常階段の利用をお願いいたします。
非常階段の場所は、P3～4の会場案内でご確認ください。
エレベーターは混雑しやすく、待機時間が長くなることがあります。非常階段を利用いただくことでスムーズにご移動いただけます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

■ スライド集の販売について

購入をご希望の場合は、5階レセプションホール内、コンシェルジュデスクにお声がけください。
お支払方法は、クレジットカード（Visa、Mastercard、American Express、Diners、JCB、Discover）やQRコード決済（楽天ペイ、d払い、au PAY、メルペイ、LINE Payなど）がご利用いただけます。

● メインプログラム分：6,600円（税込）　● 専門セミナー分：8,800円（税込）

■ 避難経路について

P3～4の会場案内をご確認ください。

■ 受講に際して

● メイン会場（5階 アキバホール）

9時30分からご入場いただけます。9時30分までは、日本訪問歯科協会の総会が行われています。そのため、医学会の開場時間までは正会員以外はご入場いただけませんので、予めご了承ください。

〔 座　席 〕

前方に認定医、認定歯科衛生士用の席をご用意いたしております。

〔 講師への質問 〕

ご質問のある方は挙手をお願いいたします。
座長から指名されましたら、スタッフがマイクをお渡しします。その後にご発言ください。

〔 中継について 〕

アキバホールの講演映像を5階レセプションホールに中継します。もしアキバホールが満員の場合には、レセプションホールのご利用をお願いいたします。
なお、レセプションホールには、中継のほかに受付窓口、コーヒーサービス、ポスター・スマイルフォト展示などがあります。そのため状況によっては中継の音が聞き取りにくい場合がありますのでご了承ください。また、中継を聴講しながらのご歓談は、窓口対応に支障をきたす可能性がありますので、お控えいただけますようお願いいたします。

● 専門セミナー会場（6階セミナールーム1、2、3、4、6）

〔 座　席 〕

セミナー開始時刻の10分前です。
安全管理のため、各セミナー会場とも定員に達し次第、入場を制限させていただきます。ご了承ください。

〔 講座終了時の全員退室 〕

1つの部屋で複数の講座を開催します。連続受講は可能ではありますが、皆様に公平な受講環境をご提供するために、講座終了時には全員にご退室いただきます。予めご了承ください。

〔 講師への質問 〕

ご質問のある方は挙手をお願いいたします。
講師または司会者から指名されましたらご発言ください。会場によってはマイクをお渡しいたします。

■ 快適な環境のために

- 会場内の撮影、録音は固くお断りいたします。
- 携帯電話はマナーモードにされるか電源をお切りください。
- 講演・講義中の私語はご遠慮ください。
- 講演中のパソコンの操作はご遠慮ください。キーボードの音が気になる方がいらっしゃいます。
- ごみは会場内の所定のゴミ箱にお入れください。
- 館内は禁煙です。所定の喫煙所をご利用ください。

■ アンケートについて

医学会終了後に、アンケートにお答えください。このアンケートをもって参加の証となり、研修ポイントが付与されます。
アンケート用のQRコードは、医学会当日、メイン会場の最終講演の後にスクリーンに表示されます。

■ お弁当について

● お渡し
12時から、5階のレセプションホールでお弁当とお茶をお渡しいたします。
お弁当を希望されると事前連絡をされた方のみお受け取りください。

● お弁当を召し上がる場所
ランチョンセミナーの会場でお召し上がりください。ロビーでのお食事は通行の妨げとなりますのでご遠慮ください。

● 食べ終わった容器
お手数をおかけしますが、設置してあるお弁当箱専用の返却箱にお入れください。

■ その他

● インターネット環境について
Wi-Fiの利用をご希望の場合は、5階レセプションホール内の受付スタッフへお声がけください。
また、部屋によっては各席に有線LANスポットがありますが、使用できませんのでご了承ください。

● 記録について
主催者が記録した医学会、専門セミナーの映像、写真、記事などの記録は主催者に帰属します。この記録のメディアへの掲載権は主催者が有します。写真・映像掲載などに問題がある場合はスタッフにお申し出ください。

● 館内施設について
館内にはお手洗いのほか、自動販売機、喫煙所、電話ブースがございます。場所はP3～4の会場案内でご確認ください。

● インスタスポットについて
1階エレベーター近く（コンビニエンスストア前）に、日本訪問歯科医学会のご参加の記念撮影用のインスタスポットをご用意しております。

● 駐車場について
有料駐車場が地下1階にあります。お支払い方法は現金、クレジットカード（VISA、JCB、MasterCard）、電子マネー（Suica、PASMO）です。当医学会の利用者割引はありませんので、予めご了承ください。

● 近隣情報
コンビニエンスストアは1階にあります。
5階または6階から行かれる場合は、エレベーターをご利用ください。なお、受付の時間帯はエレベーターが大変混み合いますので、予めご了承ください。

● アーカイブの視聴について
公開期間は11月20日（水）12:00～12月11日（水）12:00です。
視聴ページの情報は、11月19日（火）にメールでご案内いたします。
医学会のすべての講座をご視聴いただけますが、内容の大幅なカットや編集がおこなわれる可能性がありますので、予めご了承ください。

デモ講座・実習講座整理券の配布について

デモ講座と実習講座では、混雑を避けるために定員制を設けます。
講座開始の20分前から整理券をお配りします。
整理券を受け取られた方は、デモ見学や実習に参加いただけます。
整理券をお持ちでない方もご入場いただけますが、整理券をお持ちの方が着席されてからのご入場となります。
立見のスペースは数名分しかありませんのでご了承ください。

整理券の配布の詳細や注意事項は以下のとおりです。

■ 詳細（配布場所は、P3～4の会場案内でご確認ください）

◎セミナールーム4のデモ講座・実習講座（配布場所：☆ 6Fエレベーター〈F〉付近）

演　題	定　員	整理券配布開始	入場開始	講座開始
デモ講座 訪問歯科診療での VE の有用性 1	20	9:10	9:20	9:30
デモ講座 訪問歯科診療での VE の有用性 2	20	10:25	10:35	10:45
実習講座 診療情報提供書の書き方・読み方 1	20	12:40	12:50	13:00
実習講座 診療情報提供書の書き方・読み方 2	20	13:55	14:05	14:15

◎セミナールーム6の実習講座（配布場所：★ 6Fエレベーター〈E〉付近）

演　題	定　員	整理券配布開始	入場開始	講座開始
実習講座 スポンジブラシの選び方と使い方	40	9:10	9:20	9:30
実習講座 摂食嚥下リハの実際	40	10:25	10:35	10:45
実習講座 嚥下を促す表情筋マッサージ	40	12:40	12:50	13:00
実習講座 機能評価をしながらおこなう口腔清拭	40	13:55	14:05	14:15

■ 注意事項

- 整理券の配布は、定員数に達し次第、終了いたします。
- お一人様一枚限り配布します。
- 配布場所付近での待機はご遠慮願います。
  特に、企業展示ブース前での待機は企業様や他の参加者へのご迷惑となりますのでご注意ください。
- 整理券を紛失した場合は、定員枠ではご入場いただけませんのでご了承ください。

教育講演 1

〔 アキバホール ● 10:30－11:30 〕

訪問歯科で意識したい背景疾患と薬剤 ～治療とケアの判断に迷ったら！～

長谷 剛志 氏 ｜ 公立能登総合病院 歯科口腔外科 部長



医療の進歩と寿命の延伸により多病併存している高齢者が増えています。したがって、認知症のみならず、がん・糖尿病・心疾患・脳血管疾患・神経変性疾患などいわゆる全身的背景疾患を抱えた人の生活の場において歯や口腔の治療・ケアに対応するのが、われわれ訪問歯科診療を担う者の役目です。

また、背景疾患が多ければ、当然のことながら治療薬の服用数も多く、薬剤の副作用によって口渇・味覚異常・粘膜炎・感覚異常など多彩な口腔所見とともに摂食嚥下障害を呈することもあります。つまり、口腔単独の疾患として歯科治療のみで完結できない症例も多く、訪問歯科診療では、主治医の治療方針や家族の希望、介護スタッフを含めた周囲の協力、療養環境などに配慮して総合的に治療・ケア計画を立案することが重要です。病院やクリニックでの歯科治療と異なり、生活の場である居宅や施設では、背景疾患によってライフステージにも配慮が必要となることも多く、治療一辺倒では通用しない場面が多々想定されます。

一方、抜歯など観血的処置後の止血や疼痛、感染管理において歯科から処方する薬剤の相互作用にも注意が必要です。鎮痛剤や抗菌薬をはじめ歯科から処方する薬剤が他科より処方されている薬剤との組み合わせによって全身状態に不利益を被る可能性はないか、薬剤の相性も考えなければいけません。訪問歯科診療で患者さんの生活に寄り添った医療提供を考える際には、背景疾患を含めた全身状態と薬剤の把握は絶対です。

本講演では、医療安全の観点から訪問歯科診療の現場で特に意識したい高齢者の背景疾患と薬剤について知識の習得に努め、安心して無理のない治療とケアを提供できるようになればと考えます。

【講師プロフィール】

〔略　　歴〕

2001年 北海道医療大学 歯学部 卒業
2006年 金沢大学大学院 医学系研究科 修了 医学博士
2009年 公立能登総合病院 歯科口腔外科 医長
2015年 同 部長

〔その他役職〕

- 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 外科系医学領域顎顔面口腔外科学分野 非常勤講師
- 琉球大学大学院医学研究科 顎顔面口腔機能再建学講座 非常勤講師
- 「食力の会」代表
- 市立輪島病院 歯科口腔外科 非常勤医師
- 石川県立田鶴浜高校 衛生看護科 非常勤講師

〔資　　格〕

- 日本口腔外科学会 専門医
- 日本口腔科学会 専門医・指導医
- 日本老年歯科医学会 専門医・指導医
- 日本老年歯科医学会 摂食機能療法専門歯科医師

〔受　賞　歴〕

2001年 デンツプライ賞
2006年 日本口腔腫瘍学会 学会賞
2007年 日本口腔科学会 優秀論文賞
2015年 全国国保地域医療学会　優秀研究賞
2019年 日本口腔科学会　学会賞　など

〔特　許　申　請〕

- 第6901724号　食事観察サポートソフト「い～とみる」

〔著　　書〕

『家族でもできるリハビリテーション ーリハ医が行う家族指導のポイントー』J. of Clinical Rehabilitation　26巻2号 医歯薬出版:179-183,2017
『介護予防最前線!　高齢者の食の変化に注意しよう』vol.41 no.2 月刊「歯科衛生士」2017年OVER65特集　クインテッセンス出版:76-88,2017
『必ず役立つ介護食』(監修) 北國新聞社
『食べるを導く評価&診療』vol.34(8)　月刊DENTAL DIAMOND6月号 デンタルダイヤモンド社:42-58,2018
『「かにや白えび」の関係から食べる力を導く!?』vol132(7)　臨床栄養6月号　医歯薬出版:926-927,2018
『超高齢社会における歯科衛生士の道しるべ』vol(8)　デンタルハイジーン8月号　医歯薬出版:914-915,2018
『歯科衛生士のための病院における医科歯科連携・口腔機能管理マニュアル』(共著) 医歯薬出版:86-99, 174-178,2019
『食べる力を失わせない ―食事場面を見て抱える問題がわかる―』クインテッセンス出版 2019年
『訪問診療での歯科臨床』(共著) 医歯薬出版　2020年
『終末期の肺炎』(共著):南山堂 2020年

〔原著論文〕

- 長谷剛志. 歯科治療恐怖症患者にプロビジョナルレストレーションと行動療法を応用した1例. 日本歯科心身医学会雑誌22(2):88-93, 2007.
- 長谷剛志,寺井功一,堂ケ崎裕美,島本寛子. 上顎欠損による咀嚼・嚥下・発音障害に弾性オブチュレータを適応した1例. 公立能登総合病院医療雑誌20:9-12,2009.
- 長谷剛志、川尻秀一、田中　彰、加藤広禄、中川清昌、山本悦秀. 口蓋腺由来の腺房細胞癌の1例. 日本口腔外科学会雑誌56(6):357-360,2010.
- 長谷剛志.食行動の発達と減退からみた口腔機能の変化―摂食嚥下障害のメカニズムを考える―. 日本食生活学会誌　25(4):231-235,　2015.
- 長谷剛志. 認知症高齢者の拒食が契機となり発見された顔面異物の1例. 石歯学報: 4号:2-5, 2017.
- Hase T, Miura Y, Nakagami G,　Okamoto S, Sanada H, Sugama J. Food bolus-forming ability predicts incidence of aspiration pneumonia in nursing home older adults: a prospective observational study. J Oral Rehabil. 2019 Jul 12.　その他多数

〔社会貢献〕

- 平成23年度 厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業「在宅療養中の胃瘻患者に対する摂食・嚥下リハビリテーション」に関する総合的研究
- 平成25年度 厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業「嚥下遠隔指導システムの開発への取り組み」に関する研究
- 平成26年度 独立行政法人福祉医療機構補助金 在宅移行支援事業「退院する高齢・障害者の在宅移行推進事業」
- 平成27年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業「在宅高齢者の口から食べる楽しみの支援の在り方に関する調査研究事業」
- 平成29年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業「摂食嚥下機能低下者への介護保険施設等における食事提供及び退院退所時等における連携の実態等、嚥下調整食の提供のあり方に関する調査研究事業」
- 平成29年度 日本看護科学学会 摂食嚥下時誤嚥・残留アセスメントに関する看護ケアガイドライン作成委員
- 平成30年度 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)「地域包括ケアシステムにおける効果的な訪問歯科診療の提供体制等の確立のための研究」
- 令和3年～　厚生労働省医政局歯科保健課「歯科医療提供体制等に関する検討会」構成員

教育講演 2

〔 アキバホール ● 13:45－14:45 〕

在宅医療における「三位一体」の取り組みの在り方

佐々木　淳 氏 ｜ 医療法人社団 悠翔会　理事長・診療部長



2024年の診療報酬改定では、急性期・回復期から生活期に至るまで、栄養・口腔・リハの連携強化＝「三位一体の取り組み」がさらに推進された。その背景にあるのは栄養ケアの重要性だ。すべてのフェイズにおいて適切な栄養管理がアウトカム（治療成績・予後）を改善する。

急性期・回復期においてはすでに多くの入院医療機関でNST（栄養サポートチーム）が活動し、多職種協働による栄養改善の取り組みを通じて入院診療のアウトカムを改善してきた。

生活期においては、急性期・回復期以上に栄養ケアが重要になる。在宅高齢者のリスク要因は動脈硬化性疾患から脆弱性疾患（誤嚥性肺炎・骨折など）へシフトする。その背景にあるのは低栄養から始まるフレイルサイクルだ。

在宅高齢者の低栄養の要因は複合的だ。加齢や疾患の進行、治療の後遺症や薬剤の影響、ポジショニング、感覚機能の低下など多岐に渡るが、口腔環境・口腔機能の影響は特に大きい。これらによる食事量の減少のみならず、摂食機能と食形態との不適合が食物誤飲・窒息のリスクを高めているケースも散見される。歯科を含む多職種協働が、生活期においても患者の生活の質を高め、予後を改善する。

しかし、生活期においては、病院のようにケアが施設内で完結しない。専門職はそれぞれ異なる事業体に所属し、医療保険と介護保険の2つの給付を使い分ける必要がある。医療系サービスの利用は医師の指示が、介護系サービスにはケアマネジャーによるケアプランの調整が必要になる。地域ごとにシームレスなチームづくりが前提として求められる。

また、患家ごとに生活力・生活スタイルが異なる。医療的な正しさを指導するのではなく、患者や家族にとって違和感のない生活が、必要最小限の支援で持続できるよう支援を組み立てていく必要もある。

生活期における三位一体の取り組み、あるべき食支援について考えてみたい。

【講師プロフィール】

〔 略　　歴 〕
1998年 筑波大学医学専門学群卒業
社会福祉法人三井記念病院内科 / 消化器内科
2003年 東京大学医学部附属病院消化器内科
2006年 在宅療養支援診療所（MRCビルクリニック）開設（現：悠翔会）
2008年 医療法人社団悠翔会、理事長

現在、首都圏ならびに愛知県（知多半島）、鹿児島県（与論島）、沖縄県（南風原町・石垣島）に全24拠点を展開。約8,500名の在宅患者さんへ24時間対応の在宅総合診療を行っている。
また、2023年には訪問看護ステーションを東京都（港区）に、2024年には訪問看護ステーションを併設する看護小規模多機能型居宅介護を茨城県（守谷市）に開設。最期まで自宅で過ごしたいと願うすべての人の想いに応えるために邁進している。

〔 主 な 著 書 〕
『これからの医療と介護のカタチ 超高齢社会を明るい未来にする10の提言』（2016）日本医療企画
『在宅医療 多職種連携ハンドブック』（2016）法研
『在宅医療カレッジ－地域共生社会を支える多職種の学び21講』（2018）医学書院
『在宅医療のエキスパートが教える　年をとったら食べなさい』（2021）飛鳥新社
『現場で役立つ よくわかる訪問看護』（2023）池田書店
ほか

特別講演 〔 アキバホール ● 15:25－16:25 〕

訪問歯科と行動経済学

竹林 正樹 氏 | 青森大学 客員教授



〔キーワード〕“行動経済学”“ナッジ”“認知バイアス”“異時点間の選択”

経済学は有限なリソースを配分し、満足度を高めることを目的とした学問であり、「いかに人を動かすか」をテーマとする。歯科治療を促すための介入は、「インセンティブ」「情報提供」「ナッジ」に大別できる（ただし金銭インセンティブ付与は制度上難しいため、ここでは触れない）。多くの場合、情報提供して納得の上で治療へと繋げるが、多くの人は頭で治療の大切さがわかっていても、認知バイアス（心理的傾向）に影響されると治療を後回しにしてしまう。このため、それに応じた学問が必要になってきた。認知バイアス的行動をとる人を動かすための学問が行動経済学である。

行動経済学の中心的理論である「ナッジ（nudge）」は「ひじでつつく」「そっと後押しする」を意味する英語で、学術的には「選択の自由を確保しながら、金銭的インセンティブを使わずに行動を促す手法」と定義される。ナッジ提唱者・セイラーのノーベル経済学賞受賞（2017年）以来、日本においても厚生労働省が「健康寿命延伸プラン」でナッジの活用を推奨し、管理栄養士や保健師の国家試験にナッジが出題範囲に含まれるなど、ナッジは健康支援の必須のスキルになりつつある。

多くのエビデンスから、「高齢者は現在バイアス、リスク回避性バイアスが強い（Dohmen et al,2011:Richter et al,2018）」「重度糖尿病の人は現在バイアスが強い（Bisin et al,2020）」「がん検診未受診者はリスク回避性バイアスが強い（Picone et al,2004）」と、認知バイアスの特性が推定できるようになった。これに伴い、行動の阻害要因となる認知バイアスを弱めたり、促進要因となる認知バイアスを強化したりして受診促進につなげることが可能になった。

本セッションでは訪問歯科に応用できる行動経済学の知見を紹介する。

◎ ナッジのイメージ



「まんがでわかる ナッジのひみつ」
作/竹林 正樹　画/すなやまえみこ

【講師プロフィール】

〔 略　　歴 〕 青森県出身
立教大学経済学部、米国University of Phoenix大学、青森県立保健大学大学院修了
Master of Business Administration、博士（健康科学）

行動経済学を用いて「頭ではわかっていても、健康行動できない人を動かすには?」をテーマにした研究を行っている。ナッジで受診促進を紹介したTED（テッド）トークはYouTubeで80万回以上再生。
代表作は「心のゾウを動かす方法」（扶桑社）、介護のことになると親子はなぜすれ違うのか（GAKKEN）。

〔 役　　職 〕
- 青森大学 客員教授
- 青森県立保健大学 非常勤講師・客員研究員
- 株式会社キャンサースキャン 顧問
- 横浜市行動デザインチーム（YBiT） アドバイザー
- OZMA Nudge Social Design Unit アドバイザー

ランチョンセミナー A 〔 アキバホール ● 12:10－12:50 〕



IOSを用いた ポリフレックスデンチャーの紹介

守口　和 氏 ｜ 守口歯科クリニック 副院長

昨今、日本国内の歯科診療で口腔内スキャナーによる光学印象採得は急激に普及を始めているが、訪問歯科でも例外ではなく、むしろ口腔内スキャナーの使用は非常に有益である。

多くの口腔内スキャナーが存在する中で、今回はノーベル・バイオケア社のDEXIS IS 3700を使用して、スキャンデータのラボへの送信からCAD/CAMでのポリフレックスデンチャーの作製に至るデジタルワークフローを実際の臨床例と通してご紹介したい。

ポリフレックスデンチャーとは、一体成型されたディスクからの削り出しで収縮や変形が起こらないため、クラウンの様な適合をデンチャーで再現することができることから、調整時間の短縮や物が詰まりにくい等のメリットがあり患者へのメリットは非常に大きいメタルを使わないノンクラスプデンチャーである。

高精度のデンチャーを製作できる根拠となる技工所とのデータ共有方法から実際に技工所が使用しているミリングマシンの性能についてもご紹介するつもりである。

また、口腔内スキャナーDEXIS IS3700のスキャン精度、スピード、被写界深度はもちろん重さやサイズ、更には感染防止に適した滅菌可能な先端チップなど訪問歯科での使用時に考慮しておきたい機能等についても当セミナー内で供覧する実際の臨床例と共に言及していきたい。

【講師プロフィール】

〔略　　歴〕
1999年 岩手医科大学歯学部 卒業
2000年 守口歯科クリニック勤務 副院長
2001年 米国 南カルフォルニア大学歯学部留学
2004年 メデントインスティテュートエグゼクティブインストラクター
　　ー本木歯科クリニック勤務
2005年 スウェーデンイエテボリ大学顎顔面外科留学
2014年 ニューヨーク大学インプラント科卒業
2020年 スウェーデンイエテボリ大学 カール・エリック・カーンバーグスクール 東京校 校長就任

〔所 属 団 体〕
NPO法人歯科学研究所
ICOIインプラント国際学会
国際レーザー学会
EAO正会員
University of Southern California School of Dentistry Century Club in Japan Section
日本訪問歯科協会
歯科放射線学会

Nobel Biocare™

DEXIS™ IS 3700
実用的な高性能をリーズナブルに



小さな手にも収まるコンパクト設計
人間工学に基づいて最適化されたグリップと
326g の軽量ボディで優れたスキャン感覚を実現



-2mm スタートの深い被写界深度
チップの中に歯が入ってもスキャン可能で
IOS に不慣れな方でも容易に操作可能
フルアーチを 30 秒で高速スキャン *
* 3D 模型による社内テスト結果
　スキャン時間は、歯牙モデルや PC 等によって異なる場合があります



ライセンス料不要のソフトウェア
ソフトウェア無償アップデート
クラウド使用料無料



承 認 番 号：22900BZX00139000
一般的名称：デジタル印象採得装置 / 歯科技工室設置型コンピュータ支援・製造ユニット
販　売　名：DEXIS イントラオーラルスキャナ
製造販売元：エンビスタジャパン株式会社　東京都品川区北品川 4-7-35

ランチョンセミナー B 〔 セミナールーム1 ● 12:10－12:50 〕



口腔機能管理に新たな戦略を
～S-PRGが拓く新たな予防歯科～

弘中 祥司 氏 ｜ 昭和大学歯学部口腔衛生学講座 教授

訪問歯科の臨床においては、脳卒中発症後の比較的若い患者さんに対しては一般歯科臨床と同様に齲蝕および歯周疾患への対応が主体となりますが、疾患特性を熟知したうえでの口腔機能への配慮も必須であり、患者本人だけでは充分なセルフケアが難しい場合も多く、機能面に対しても継続的な対策も重要な要素となります。そのため、誤嚥性肺炎をはじめとして、口腔疾患を未然に防ぐ、予防歯科医学の発想が口腔機能管理に必要であり、持続的に口腔内を守り続ける、Bioactiveな製品を臨床に応用することが最適と言えます。

株式会社 松風が開発したS-PRGフィラーはマルチイオン徐放性と呼ばれるフッ化物イオン、ストロンチウムイオン、ナトリウムイオン、ホウ酸イオン、アルミニウムイオン、ケイ酸イオンからなる6 種のイオンが最適時に徐放し、硬・軟組織や細菌、さらには周囲環境にも有効に作用するBioactive効果を発現することが世界的に知られています。このS-PRGフィラーを含んだ製品群“Giomer”の訪問歯科医療への臨床応用が新しい提案として期待されます。

今回は、予防的バイオアクティブ戦略として、Giomer 製品群の中でも、齲蝕予防に深くかかわる歯面コート材、歯面トリートメント用ペースト材の特徴および訪問歯科での応用による有効性をみなさまに提案してみたいと思います。

【講師プロフィール】

〔略　　歴〕
1994年 北海道大学歯学部卒業
2001年 北海道大学歯学部附属病因咬合系歯科 助手
2002年 昭和大学歯学部口腔衛生学教室　助手
2013年 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門 教授
2023年 昭和大学歯学部口腔衛生学講座 教授
現在に至る

SHOFU
PRG Technology Giomer

バイオアクティブなS-PRGフィラーを
応用した新しい予防コンセプト

Smart Prevention

S-PRGフィラー ＝ フッ化物を含む6種類のイオンリリース



PRGバリアコート
歯面コーテイング材
歯科用知覚過敏抑制材料
高分子系歯科小窩裂溝封鎖材
（シーラントにも使用可能）
管理医療機器 医療機器認証番号　222AKBZX00065000



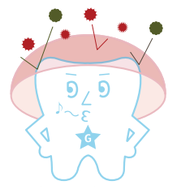


PRGプロケアジェル α
イオン徐放型
トリートメントペースト
歯面研磨材
一般医療機器
医療機器届出番号　26B1X00004000283

S-PRG 技術で口腔内環境の健全化をサポート



酸緩衝能の発現



抗プラーク付着性（学会報告1）



エナメル質の脱灰を抑制（学会報告2）

参考：
①朝日大学 歯学部歯科保存学分野/第117から123回日本歯科保存学会報告
②大阪歯科大学 口腔衛生学講座/International Journal of Dentistry, volume2014, Article ID 463149, 7pages.

GIOMERATSHOFU

世界の歯科医療に貢献する
株式会社 松風
●本社：〒605-0983京都市東山区福稲上高松町11 お客様サポート窓口(075)778-5482 受付時間8:30～12:00 12:45～17:00(土日祝除く)　www.shofu.co.jp
●支社：東京(03)3832-4366●営業所：札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/京都(075)757-6968/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595

ランチョンセミナー C 〔 セミナールーム3 ● 12:10－12:50 〕



ご存知ですか？ 錠剤嚥下障害

廣瀬 知二 氏 ｜ 医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院
訪問診療部長

錠剤嚥下障害とは、錠剤（他剤形含む）が飲み込みにくい状況を指します。食物は咀嚼してから均一になった食塊を飲み込む一方、服薬は水分と薬剤という異なる質感を同時に飲み込む必要があります。そのため、嚥下機能が低下した患者にとっては難易度が高い行為の一つです。

厚生労働省『高齢者の医薬品適正使用の指針』では、処方の確認・見直しは医師、歯科医師、薬剤師が中心となることが明記されています。また、生活の質（Quality of Life: QOL）の維持向上を共通の目的とし、服薬状況の管理や服薬支援を担う多職種との連携の重要性も述べられています。そして、その中で歯科衛生士の役割として、「口腔機能や嚥下機能を確認し、薬剤を内服できるかどうか（剤形、服用方法）、また薬物有害事象としての嚥下機能等の確認」が示されています。

個々の患者に適した服薬支援は薬剤師が中心となりますが、歯科医療従事者も服薬支援についての知識を有し、多職種と連携して対応する必要があります。

今回、高齢者の服薬に関連したトラブルと服薬支援についてお話させていただきます。また、当院で日常的に使用している、MA-Tを含有した口腔ケアジェル、オーラルリムーバルジェル（アース製薬）について、MA-Tのメカニズム、ジェルの使用方法、有用性について紹介します。

【講師プロフィール】

〔略　　歴〕
1960年 大分県生まれ
1985年 北海道医療大学歯学部卒業
1989年 広島大学大学院歯学研究科修了
1994年 医療法人康和会入職 歯科訪問診療に従事
2015年より現職

〔資格・学会〕
- 歯学博士
- 日本歯科医療管理学会認定医
- 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
- 介護支援専門員
- 日本口腔ケア学会評議員
- 北海道医療大学非常勤講師

〔出　　版〕
『病院・施設・在宅で役立つ! 基礎からわかる口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーション Q&A57: 患者さんに応じたケアのポイントがわかる』メディカ出版 2021
『薬YEARBOOK'24/'25 患者に聞かれても困らない! 歯科医師のための「薬」飲み合わせ完全マニュアル』（共著）クインテッセンス出版 2024
『フローチャート式歯科医のための救急処置マニュアル 第6版』（共著）医歯薬出版 2022

会員口演 1 〔 セミナールーム2 ● 13:00－13:10 〕



頸髄損傷患者の摂食嚥下機能の回復・維持が行えた症例から考える食支援が成功する因子についての検討

加地 彰人 氏 ｜ 医療法人 あき歯科医院 理事長

■目 的
頸髄損傷、四肢麻痺により経口摂取困難と診断された患者に対し、多施設・多職種介入により摂食機能の回復・維持が行えた事例から、成功した因子を検討する。

■症例および処置
初診時74歳男性。頸髄損傷、四肢麻痺、胃瘻造設等多数の既往、服薬あり。要介護5、意識レベル清明。近総合病院にて嚥下障害診断。退院後、在宅にて近総合病院主治医のフォロー、近医や訪問看護と訪問リハビリによる嚥下時の姿勢調整や食事の調理方法、排泄管理を含めた体調管理、近歯科主治医による口腔ケアと義歯調整、当院による嚥下精密検査と嚥下訓練を行なった。

■結果と考察
リハビリの結果、おかゆ程度の食品は嚥下可能となり、その後、入退院は数回あったものの、誤嚥性肺炎の発症もなく、楽しみ程度の経口摂取は約2年間継続された。
本症例から摂食嚥下機能の回復と維持が可能となった因子は、チーム医療において患者の「口から美味しく食べ続けたい」意欲をうまく引き出せ、リハビリの方向性が一致したこと、元々の口腔周囲筋群の廃用がなかったこと、義歯が使用できていたこと、自宅での療養生活で家族の協力が十分あったことなどが考えられる。

【講師プロフィール】

〔略　　歴〕
2005年 鹿児島大学歯学部歯学科卒業。
同大学医学部歯学部附属病院義歯補綴科にて研修医、医員、助教を経て2013年あき歯科医院を開業し、2019年7月医療法人あき歯科医院となり、現在に至る。

〔取得資格等〕
歯科医師（第151914号）、産業歯科医（第14517号）、口腔ケアアンバサダー（認定番号000332）、日本老年歯科医学会認定医（第430号）・専門医（第282号）・摂食機能療法専門歯科医（第91号）・代議員（令和6年6月～）、日本訪問歯科協会認定医（0061号）、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士（第110234号）、長崎嚥下リハビリテーション研究会　摂食・嚥下コーディネーター（第1201-0175号）、認知症ケア指導管理士（DC1200672）、認知症ケア上級専門士（第18002号）、認知症ケア学会代議員（令和6年6月17日～）、公認心理師（第45537号）・認定専門公認心理師（登録番号ACPP00249）、四国中央市介護認定審査会委員（平成28年～）・四国中央市立新宮小中学校学校歯科医（令和1年～）・四国中央市立川之江南中学校学校歯科医（令和4年～）・河原医療大学校新居浜校歯科衛生学科非常勤講師（令和4年～）

〔受賞歴他〕
- 2016年度認知症ケア学会石崎賞受賞（「在宅歯科医療連携室と歯科医療機関における要介護高齢者への取り組み」）
- 摂食・嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床（PAP）の診療ガイドライン作成協力（平成23年6月22日発行）
- 『サンキュ!』の『「お口のケア」で感染予防できるんです!』に記事掲載（ベネッセ 2021年1月号）
- 『基本を知っておこう! 開業医がおこなう訪問歯科セミナー「レセプト100枚までの訪問歯科診療」訪問歯科診療スモールスタート2021ver.』（WHITE CROSS セミナー動画2021年）
- DVD「院長1人でも導入できる訪問歯科スタートアップ講座」（歯科医療総研 2021年）
- 『放置されている! 摂食嚥下　開業歯科医が実践する「食支援」対応マニュアル』訪問歯科のエキスパートシークレット（（一社）日本訪問歯科協会 2022年）
- 『訪問歯科に求められる「心の支援」 要支援者　支援者双方向型メンタルサポート　構築マニュアル』訪問歯科のエキスパートシークレット（（一社）日本訪問歯科協会 2023年）
- 『訪問歯科診療の成否を左右する!?マインドとマインドセットの使い方』訪問歯科のエキスパートシークレット（（一社）日本訪問歯科協会 2023年）
- 1Dオンラインセミナー 訪問診療コース 第3回認知症患者の口腔管理（2023年4月）
- 1Dオンラインセミナー 訪問診療コース 第5回口腔衛生管理（2023年4月）
- ジョブメドレーアカデミー 訪問歯科における治療の専門性（2023年6月）
- ジョブメドレーアカデミー 初期費用を抑えて賢く立ち上げ（2023年8月）
- ジョブメドレーアカデミー オーラルフレイル対策（2024年1月）

会員口演 2 〔 セミナールーム2 ● 13:10－13:20 〕



訪問歯科での義歯治療（総義歯編）

正畠 昌幸 氏 ｜ 正畠歯科医院 院長

■目　的

訪問歯科での義歯の治療を体系的に捉える

■方　法

①使用義歯または、旧義歯を修理する方法

②コピーデンチャーを作成、修正して新義歯作成する方法

③最初から作成する方法（概形印象から）

■考　察

使用義歯、旧義歯の有無、顎堤条件、患者の協力度の有無、顎位の安定の有無などを踏まえて、作成方法を決めることができた

【講師プロフィール】

〔略　歴〕

1960年 岡山県倉敷市生まれ
1985年 岐阜歯科大学（現朝日大学歯学部）卒業
　　岡山大学病院第二補綴学入局（現補綴歯科部門）
1987年 倉敷市白楽町にて、正畠歯科勤務
2003年 倉敷市中央2丁目にて開業

会員口演 3 〔 セミナールーム2 ● 13:20－13:30 〕



いまい歯科医院における 特別養護老人ホームプラチナプレイス利用者への対応

今井 洋一 氏 ｜ 医療法人 いまい歯科医院 院長

「ここだけの話、もう少し口腔ケアできたら亡くなる利用者さんが減ると思うんよね……」それはいつもの訪問診療を終えて帰るエレベーターの中で発せられた看護師の本音とも愚痴ともいえる一言。「え!?」と私が聞き返すと、「いえいえ、お忙しい先生にどうこうしてくれということじゃないんですよ。すみません。」

訪問診療を始めて十数年。そのほとんどを治療に追われ、口腔ケアは、熱心なご家族の依頼があったケースに限定していました。口腔ケアの重要性・必要性は当然十分にわかっていましたが、外来診療との兼ね合い、スタッフの確保等なかなか踏ん切りがつかずもやもやしていた時期でした。

そんな矢先の出来事に、私は「これは神様が歯科医師である私に与えてくださった試練、いやプレゼントかもしれない」と思い、「これはやるしかない!」と一念発起しました。
試行錯誤した私の経験がこれから施設への定期的な訪問口腔ケアを目指す先生方の一助となれば幸いです。

【講師プロフィール】

〔略　歴〕

1982年 3 月 日本大学松戸歯学部卒業
1982年 6 月 （医）はまゆう会サトウ歯科勤務
1985年11月 （医）いまい歯科医院開業
2008年 3 月 日本訪問歯科協会入会
2020年11月 日本訪問歯科協会理事
2024年 現在に至る

会員口演４〔 セミナールーム２ ● 13:30－13:40 〕



人は口からダメになる　しかし人は口から再生する
～病院への訪問歯科診療の取り組み

中澤 桂一郎 氏 ｜ 利根歯科診療所 所長

肺炎で入院し安静を強いられ禁食となり口から食べないからと入れ歯を外された方の口は健康な方なら横長なのですが、「まあるいお口」になっていきます。舌も動かなくなりゴムのように硬くなります。入院して入れ歯をはずされると、唇が内側に入り食べることができない口になります。まさに人は口からダメになります。

訪問歯科診療に入って、まず姿勢を整え、足底の接地、背中の解放を行い口腔ケア、口腔リハビリを行います。保湿剤を使いながら口の中をうるおします。そして唾液を出させてあげます。口は潤い舌が動き口は蘇ります。「人は口からダメになる。しかし人は口から再生する」というのは、ジャーナリストの下平貴子さんが作られた言葉です。

私たちは同一法人の病院と連携して、週に3回訪問歯科診療に行っています。病院には歯科がありませんが、利根歯科診療所から訪問歯科診療に入りNST、OCT、SSTにも所属し、病院の看護師、歯科衛生士、リハビリスタッフとともに入院中の口腔ケア、口腔リハビリ、栄養サポートを続けています。

「歯は口を変え、口は顔を変え、顔の表情は人生を変える。口は身体と心の健康の入り口であり、社会への入り口でもある」。

【講師プロフィール】

〔略　歴〕
1961年 神奈川県逗子市生まれ
1986年 東北大学歯学部卒業
1986年 利根保健生活協同組合・利根歯科診療所勤務
2010年 日本医療福祉生活協同組合連合会 理事
2010年 利根保健生活協同組合 理事、利根歯科診療所 所長

〔所属学会・研究会〕
- 日本矯正歯科学会
- 日本顎咬合学会
- 日本摂食嚥下リハビリテーション学会
- 日本認知症ケア学会
- 日本サルコペニア・フレイル学会
- 日本笑い学会
- アレキサンダー研究会

〔講　演〕
- 全国各地の医療福祉生協にて「オーラルフレイル予防の講演」
- 長野県生協連、群馬県生協連、新潟県生協連、鳥取県生協連、三重県生協連
- 日本女医会
- 「保険で良い歯科医療を」全国連絡会―大分県、愛知県、長野県
- 京都市医師会、京都府歯科医師会、京都府歯科衛生士会
- 長野県薬剤師会
- 埼玉県保険医協会

ポスター発表１〔 レセプションホールAB 〕



ALSと共に『自分らしく生きたい』を支えるケア
～人工呼吸器管理に至るまでの口腔ケアの変遷と自律支援～

笹森 佳子 氏 ｜ 訪問歯科クリニックこすもす

■目　的
ALS指定難病のひとつであるが、進行性に運動ニューロンが障害されるため、ADLの低下に伴う心理的・社会的な喪失感も大きい。今回、人工呼吸器管理に至った在宅ALS患者へのアプローチを通して自律支援について考察する。

■症例および経過
50歳代女性。下肢筋力低下を自覚し精査にてALSと診断。車いす自走レベルだったがセルフケアが困難となり、当院で歯科治療および定期の口腔ケアを実施。2022年X月に胃瘻造設したが本人の希望で経口摂取を続けていた。2023年Y月に呼吸不全となり入院。気管切開下における人工呼吸器管理となったが、その後在宅復帰し、現在も様々なフォーマル・インフォーマルサービスを利用しながら経管栄養と経口摂取を併用し、自律した生活をしている。

■考　察
今回の症例において、ALS患者は自立した生活は困難であっても、何を食べ、誰とどう過ごすか、自分のことは自分で決めるという「自律」を支援することで、『自分らしく生きたい』を支えることができた。そのためには、これから起こりうる課題を先読みし、口腔ケアの目的や手段を変えながら口腔内環境を整えていくことで患者の笑顔を守ることにつながるのではないかと考える。

【講師プロフィール】

〔略　歴〕
平成18年 青森県立保健大学健康科学部看護学科 卒業
　　青森保健生活協同組合 あおもり協立病院 看護師として勤務
平成23年 青森市おおの地域包括支援センター 保健師として勤務 介護支援専門員 取得
平成25年 青森県立保健大学健康科学部看護学科 入職
　　在宅看護学・保健学領域 助手
平成29年 青森県立保健大学健康科学研究科 地域保健学分野ヘルスプロモーション領域 修了
　　看護学修士 取得
　　有限会社青森介護サービス 入社　訪問看護ステーションに勤務
平成31年 訪問歯科クリニックこすもす 入職
　　青森中央学院大学看護学部非常勤臨地実習講師を兼務（老年看護学実習、在宅看護実習）

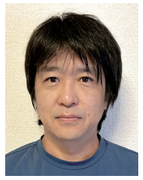
【論文】
- 地域包括支援センターにおける若年性認知症支援に関する研究
  ー地域診断の活用促進に向けた課題ー 他

【書籍】
- 書きながら覚えるケアマネージャーまるわかり合格ノート第3版・第4版
  （保健医療分野：分担執筆）他
- エキスパートシークレット024「看護師が伝授！訪問現場における患者接遇と医科歯科連携術」

【学会】
- 日本在宅ケア学会、日本地域看護学会、日本口腔ケア学会

【講演】
- 令和3年度 秋田県看護協会鹿角地区支部講演会「いまさら聞けない口腔ケア～視点が増えればケアが変わる!～」
- 令和3年度 青森県地域包括支援センター・在宅介護支援センター職員研修「在宅における口腔ケアの現状」
- 令和3年度 青森県介護支援専門員スキルアップ研修医療専門職との連携に必要な知識とコミュニケーション力研修会「歯科医師・歯科医療従事者との連携」
- 令和4年度 五所川原市介護事業者連絡協議会「介護現場に求められる口腔ケア」
- 令和4年度 南部町社会福祉協議会 第2回他法人合同事例研修会「ケアマネージャーに知ってほしい！口腔アセスメントと歯科との連携」
- 令和4年度 第4回庄内の地域連携を考える会～他職種で見守る口腔環境～「視点が増えればケアが変わる!～多職種で関わる口腔ケア～」
- 令和4年度 青森市在宅医療・介護連携推進事業 第3回 在宅医療ケア知識向上研修会「ケアマネージャーに知ってほしい!口腔トラブルと口腔アセスメント」
- 令和5年度かづの市多職種連携を進める会および鹿角市
- 鹿角郡歯科医師会合同研修会「視点が増えればケアが変わる!～多職種で関わる口腔ケア～」
- IOCiLオンラインセミナー しくじり先生が教える! ゼロから始める訪問診療レセプト100までのステップアップ～看護師が教える! 院長とスタッフに聴いて欲しい他職種へのアプローチ～

ポスター発表 2 〔 レセプションホールAB 〕



訪問歯科診療で抜歯をおこなった クロイツフェルト・ヤコブ病患者の一例

山形 和彰 氏 〔 村社 沙也加 氏・横山 由紀 氏・青山 修 氏 〕
｜ 医療法人社団 秀歌会　青山歯科医院

■緒　言

クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）はプリオンによって引き起こされる神経疾患の一つである。原因であるプリオンは別個体にも伝達しうるため、処置の際は感染対策が重要であるが、生物性病原体ではないため特別な方法と注意が必要である。今回、訪問歯科診療で感染対策に注意し、抜歯を行ったCJD患者の一例を経験したので報告する。

■症　例

患者は62歳女性。臨床症状や頭部MRI、遺伝子検査によりCJDと診断された。入院先より歯牙の動揺を主訴に訪問歯科診療依頼があった。左下1・2・3に3度の動揺を認めたため抜歯を計画した。抜歯はプリオン病感染予防ガイドラインに準拠して行った。個人用防護具を着用し、使用する機材はすべてディスポーザブルとした。抜歯後、使用した機材はすべて入院先で廃棄した。創部の治癒経過は問題なく、処置終了となった。

■考察・結語

CJD患者の歯科処置では感染対策が重要である。しかし、ガイドラインに従って対応すれば感染予防は十分可能であり、過剰な反応を避けることも大事である。訪問歯科診療でも必要な感染予防策を講じ、積極的な歯科介入を行うことはCJD患者にとって有益であると考えられる。

【 講師プロフィール 】

山形 和彰
〔 略　歴 〕
2007年（平成19年）鹿児島大学歯学部卒業
2015年（平成27年）大阪大学大学院市学研究科卒業

ポスター発表 3 〔 レセプションホールAB 〕



精神科病院入院患者の口腔内調査

樋口 亜由子 氏 ｜ 樋口歯科医院

■目　的

我が国の精神障害者数は令和2年の患者調査によると約500万人と推計されている。その精神障害者はその症状や唾液分泌低下など薬の副作用が原因となり、う蝕や歯周病になりやすくなるなど問題があるにもかかわらず歯科的介入が不十分な場合が多い。今回、精神科病院において入院患者の口腔内について調査したので報告する。

■調査対象と方法

- 対象は令和4年11月25日～令和6年9月30日までに初診で診察した精神科病院入院加療中の患者180名
- 直接対象者を観察しながら同一歯科医師が判定して集計
- 調査項目は口腔内審査およびDMF指数

■結果とまとめ

- 口腔内審査ではそれぞれの項目で問題を認めた
- DMFT指数では対象の少ない階級を除くとすべての年齢階級で一般人よりも高い数値であった。以上のことから今回調査した精神科病院入院患者は、歯科的介入が必要であると言える

また多量の歯石沈着の1例も紹介させていただきます。

【 講師プロフィール 】

〔 略　歴 〕
平成15年　朝日大学 歯学部卒業
平成15年 香川大学医学歯科口腔外科学講座（～平成19年9月）
平成19年 樋口歯科医院 勤務（～平成26年）
平成20年 樋口クリニック歯科 勤務
平成22年 吉備国際大学短期大学部 非常勤講師（～平成25年）
平成25年 順正高等看護福祉専門学校 非常勤講師（～令和3年）
平成26年 医療法人社団将斗会 樋口歯科医院勤務　今に至る

1〔 セミナールーム3 ● 9:45－10:30 〕 2〔 セミナールーム3 ● 11:00－11:45 〕



症例研究会
これからの摂食嚥下リハビリテーション 1、2

戸原　玄 氏 ｜ 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 教授

摂食嚥下リハビリテーションを始めるときには、おそらく嚥下のテストや嚥下の訓練方法を勉強することと思います。しかし、やり始めてみるとその場ではなんとなくテストや訓練ができても、方向性をうまく持たせることができないために、何年も同じようなことばかり繰り返してしまうということがあります。

今回は症例を一つお持ちいたしますので、皆様にも考えていただいて発表していただき、その場で何をするかというよりもどのように進めたらよいか、を考える練習をしていただければと考えております。また、ともに考えることを通して、ほかの職種やご家族とどのように相談していったらよいか、など、そのような練習もできればと思っております。

【講師プロフィール】

〔略　歴〕
1997年　東京医科歯科大学歯学部歯学科卒業
1998～2002年　東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科老化制御学系専攻高齢者歯科学分野大学院
1999～2000年　藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学講座研究生
2001～2002年　ジョンズホプキンス大学医学部リハビリテーション科研究生
2003～2004年　東京医科歯科大学歯学部付属病院高齢者歯科　医員
2005～2007年　東京医科歯科大学歯学部付属病院高齢者歯科　助手
東京医科歯科大学歯学部付属病院摂食リハビリテーション外来　外来医長
2008～2013年　日本大学歯学部摂食機能療法学講座　准教授
2013～2019年　東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科老化制御学系口腔老化制御学講座高齢者歯科学分野　准教授
2020年～　東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯学系専攻老化制御学講座摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授

〔受　賞〕
1. 日本顎口腔機能学会学術大会優秀賞（2023年）
2.『訪問診療での歯科臨床 在宅歯科医療をさらに高めるClinical Questions』（戸原玄、中川量晴編集） 老年歯科医学会賞（2021年）
3. 歯学研究奨励賞,東京医科歯科大学（2018年度）
4. 東京医科歯科大学医療チーム功労賞,東京医科歯科大学（2015年, 2017年）
5. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会論文賞（2009年度, 2023年度）
6. 老年歯科医学会雑誌 優秀論文（2008年、2009年、2014年）

〔理　事〕
●日本老年歯科医学会（常任理事・高齢者歯科医療委員会委員長・摂食嚥下リハビリテーション委員会委員長）
●日本摂食嚥下リハビリテーション学会（表彰委員会委員長・教育委員・ホームページ担当委員会委員長）
●Patient Doctor Network ●在宅支援歯科診療連絡会 ●日本補綴学会東京支部
●日本神経摂食嚥下・栄養学会（編集委員・2025年学術大会大会長） ●日本口腔リハビリテーション学会 ●口腔病学会
●日本咀嚼学会 ●日本顎口腔機能学会（2024年学術大会大会長） ●日本咀嚼学会（利益相反委員会副委員長）

〔認定医・専門医〕
●日本摂食嚥下リハ学会認定士
●日本老年歯科医学会認定医および認定医指導医
●日本老年歯科医学会専門医および専門医指導医

〔 セミナールーム3 ● 13:15－14:00 〕



症例研究会 訪問診療での義歯治療
～訪問診療の立案をふまえて～

飯田 良平 氏 ｜ 医療法人社団 為世為人会 ヒューマンデンタルクリニック 院長

訪問診療の対象者では、デンチャースペースが少ない、顎堤の吸収が重度といった通常の補綴処置に際しての難易度に加え、認知機能の低下により意思疎通が得られない、姿勢の制限がある、摂食嚥下機能の低下があるなど種々の条件が存在し、その対応に苦慮することが多いのではないでしょうか。機能的にも既に義歯の適応にないのではないかと思われることも多々あります。

人生の最期まで寄り添う歯科医療を提供する際には、「義歯を外すこと」も歯科医師の仕事となります。口から水分や栄養を摂取するという観点からの口の条件や、特殊な義歯の対応について、先生方と一緒に考えてみたいと思います。

【講師プロフィール】

〔学　歴 ・ 職　歴〕平成３年３月 日本大学第一高等学校卒業
平成９年３月 鶴見大学歯学部歯学科　卒業
平成９年４月 鶴見大学歯学部附属病院 臨床研修歯科医（高齢者歯科学講座）
平成10年４月 鶴見大学歯学部附属病院 診療科助手
平成13年１月 鶴見大学歯学部 助手（高齢者歯科学講座）～助教に至る
鶴見大学歯学部附属病院高齢者歯科・摂食嚥下リハビリテーション外来主任
平成30年３月 退職
平成30年４月 鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座非常勤講師
下記医療機関を兼務
鶴見大学歯学部附属病院高齢者歯科
横浜市歯科保健医療センター
歯科診療所（吉武歯科医院）
東京都立神経病院
医療法人社団東京愛成会高月病院（精神科）
藤沢市口腔保健センター
横浜市立みなと赤十字病院
医療法人社団 為世為人会 川崎ヒューマンクリニック
令和２年４月 ヒューマンデンタルクリニック 院長（横浜市都筑区）

〔所属学会・研究会賞〕 日本老年歯科医学会（指導医・専門医・摂食機能療法専門歯科医師）
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 評議員
神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会 副会長 など

〔 セミナールーム1 ● 14:30－15:15 〕



実践 ミールラウンド

阪口 英夫 氏 ｜ 医療法人永寿会 陵北病院 副院長

介護保険における経口維持加算の算定要件であるミールラウンドは、介護保険施設から連携歯科診療所に期待する項目としても上位に位置しています。しかし、本年の診療報酬改定にて示された資料では、在宅療養支援歯科診療所であってもミールラウンドへの参加は10%未満しかないとの報告があります。なぜミールラウンドに参加できないのか、歯科医師に問うと、ミールラウンドでの歯科医師としてどんなことをしたら良いのか分からないという答えを多く聞きます。

そんな声に応えて、今回のセミナーでは介護保険施設のミールラウンドに参加するための基礎知識と実践方法を解説したいと思います。このセミナーには歯科医師だけでなく他職種の方の参加も可能です。ぜひ多くの方にご参加頂き、施設でのミールラウンドに役立ててください。

【講師プロフィール】

〔略　歴〕
1989年 東北歯科大学 歯学部 卒業
1992年 医療法人尚寿会 大生病院 歯科 勤務
1999年 東京医科歯科大学歯学部 高齢者歯科学講座 非常勤講師（兼務）
2005年 明海大学 歯学部 社会健康科学講座 口腔衛生分野 講師（兼務）
2006年 奥羽大学 歯学部 高齢者歯科学講座 講師（兼務）
2014年 東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 卒業 歯学博士
2014年 医療法人永寿会 陵北病院 歯科診療部 歯科診療部長
2018年 医療法人永寿会 陵北病院 副院長

〔役　員〕
- 日本老年歯科医学会 理事
- 日本口腔ケア学会 評議員
- 社会歯科学会 評議員
- 日本老年歯科医学会 社会保険委員会 委員長
- 日本慢性期リハビリテーション協会 摂食嚥下委員会 委員長
- 日本病院歯科口腔外科連絡協議会 幹事
- 日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員
- 日本歯科医学会「口腔ケアに関する検討委員会」委員
- 日本老年歯科医学会 歯科衛生士関連委員会委員

〔資　格〕
- 日本老年歯科医学会 専門医 指導医
- 日本口腔ケア学会 指導者

〔著　書〕
『要介護高齢者の口腔病変アトラス』（2023年）ヒョウロン・パブリッシャーズ
『はじめて学ぶ非経口摂取患者の口腔衛生管理』共著（2021年）医歯薬出版株式会社
『解説 口腔ケアと摂食・嚥下リハビリテーション ―基本から実践まで』共著（2010年）口腔保健協会

1〔 セミナールーム4 ● 9:30－10:15 〕 2〔 セミナールーム4 ● 10:45－11:30 〕



デモ講座 訪問歯科診療でのVEの有用性 1、2

大久保 正彦 氏 ｜ 医療法人永寿会 恩方病院歯科・歯科口腔外科

一般に、訪問歯科治療の目的は「感染源の除去」、「咀嚼機能の回復」、「疼痛の除去」をおこない、食べるための口腔内環境を整えることと考えます。そして、歯科治療の結果、本当に食べられるようになっているのか?をみるようになり、「摂食嚥下リハビリテーション」という概念が広まりました。

このように、嚥下障害の診療に対する需要は年々増加しており、実際にみなさまも訪問診療の際に「むせる」や「なかなか飲み込まない」といった食事に関する相談を受けることも多いのではないでしょうか?

嚥下内視鏡検査（VE）は、訪問診療の場面で唯一使用可能な精密検査であり、誤嚥の有無や咽頭の形態、唾液の貯留状況などを直接確認できる非常に有用な検査です。また、検査の動画を視覚的に共有することで、説明の説得力が増し、関係者間の連携もスムーズになることがあります。

そこで、今回の講座では、実際にデモと解説を行うことで、臨床現場においてVEを導入する一助となれば幸いです。

【講師プロフィール】

〔職　歴〕
2014年4月 埼玉医科大学医学部口腔外科学教室 助教
2018年4月 杏林大学耳鼻咽喉科学教室顎口腔外科 助教
2021年4月 永寿会恩方病院歯科・歯科口腔外科
2023年4月 埼玉医科大学医学部口腔外科学教室 客員講師
現在に至る

〔学　歴〕
2012年3月　日本歯科大学生命歯学部 卒業
2013年4月　埼玉医科大学大学院 入学（博士課程医学研究科口腔外科学専攻）
2019年3月　埼玉医科大学大学院 卒業（博士課程医学研究科口腔外科学専攻）

〔主な資格〕
- 医学博士
- 日本老年歯科医学会 代議員
- 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 評議員・認定士
- 日本栄養治療学会（JSPEN） 学術評議員・認定歯科医
- 日本栄養・嚥下理学療法学会 評議員
- 日本有病者歯科医療学会 専門医・指導医
- 日本口腔外科学会 認定医
- 日本嚥下医学会 嚥下相談歯科医

〔 セミナールーム1 ● 11:00－11:45 〕



検証 診療報酬改定後の歯科訪問診療

加地 彰人 氏 ｜ 医療法人 あき歯科医院 理事長

令和6年の診療報酬・介護保険報酬改定においては、特に訪問診療料に関して施設訪問で減算になった、という声をよく耳にする。しかしながら、新設された項目や「か強診」から「口管強」への移行、患者のライフステージの変化に治療内容をマッチングさせることにより、結果的に今回の改定はプラスに転じます。

重要なことは、患者の現状把握と今後の展望、そして口腔内の形態変化と機能低下への対応です。特に機能低下や機能障害への対応は今後の歯科医院経営にとっても重要であり、訪問診療だけでなく、外来診療においても必要なスキルであると思います。

日本歯科医師会の発信する口腔健康管理、つまり、口腔機能管理と衛生管理は歯科医療従事者として必須であることを国も求めており、その対応ができている施設は安定した医院経営にもつながります。

今回のセミナーで、皆様と一緒に情報を共有できれば幸いです。

【講師プロフィール】

〔 略　歴 〕
2005年 鹿児島大学歯学部歯学科卒業。
同大学医学部歯学部附属病院義歯補綴科にて研修医、医員、助教を経て2013年あき歯科医院を開業し、2019年7月医療法人あき歯科医院となり、現在に至る。

〔 取得資格等 〕
歯科医師（第151914号）、産業歯科医（第14517号）、口腔ケアアンバサダー（認定番号000332）、日本老年歯科医学会認定医（第430号）・専門医（第282号）・摂食機能療法専門歯科医（第91号）・代議員（令和6年6月～）、日本訪問歯科協会認定医（0061号）、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士（第110234号）、長崎嚥下リハビリテーション研究会　摂食・嚥下コーディネーター（第1201-0175号）、認知症ケア指導管理士（DC1200672）、認知症ケア上級専門士（第18002号）、認知症ケア学会代議員（令和6年6月17日～）、公認心理師（第45537号）・認定専門公認心理師（登録番号ACPP00249）、四国中央市介護認定審査会委員（平成28年～）・四国中央市立新宮小中学校学校歯科医（令和1年～）・四国中央市立川之江南中学校学校歯科医（令和4年～）・河原医療大学校新居浜校歯科衛生学科非常勤講師（令和4年～）

〔 受賞歴他 〕
- 2016年度認知症ケア学会石崎賞受賞（「在宅歯科医療連携室と歯科医療機関における要介護高齢者への取り組み」）
- 摂食・嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床（PAP）の診療ガイドライン作成協力（平成23年6月22日発行）
- 『サンキュ!』の『「お口のケア」で感染予防できるんです!』に記事掲載（ベネッセ 2021年1月号）
- 『基本を知っておこう!開業医がおこなう訪問歯科セミナー「レセプト100枚までの訪問歯科診療」訪問歯科診療スモールスタート2021ver.』（WHITE CROSS セミナー動画2021年）
- DVD「院長1人でも導入できる訪問歯科スタートアップ講座」（歯科医療総研 2021年）
- 『放置されている!摂食嚥下　開業歯科医が実践する「食支援」対応マニュアル』訪問歯科のエキスパートシークレット（（一社）日本訪問歯科協会 2022年）
- 『訪問歯科に求められる「心の支援」 要支援者　支援者双方向型メンタルサポート　構築マニュアル』訪問歯科のエキスパートシークレット（（一社）日本訪問歯科協会 2023年）
- 『訪問歯科診療の成否を左右する!?マインドとマインドセットの使い方』訪問歯科のエキスパートシークレット（（一社）日本訪問歯科協会 2023年）
- 1Dオンラインセミナー 訪問診療コース 第3回認知症患者の口腔管理（2023年4月）
- 1Dオンラインセミナー 訪問診療コース 第5回口腔衛生管理（2023年4月）
- ジョブメドレーアカデミー 訪問歯科における治療の専門性（2023年6月）
- ジョブメドレーアカデミー 初期費用を抑えて賢く立ち上げ（2023年8月）
- ジョブメドレーアカデミー オーラルフレイル対策（2024年1月）

〔 セミナールーム1 ● 13:15－14:00 〕



理論で解決！離職防止と社員育成の為のメソッド

梶山 啓介 氏 ｜ 株式会社識学　取締役副社長

識学は「意識構造学」に基づいた組織運営理論であり、生産性向上を実現するための独自のマネジメント手法を提唱しています。

本セミナーでは、組織の生産性を妨げる要因を解明し、業種や業態関係なく、どのような組織でも効果的に生産性を高めるための組織マネジメントの方法を紹介します。

特に、メンバーの役割や立場、責任を明確にする「位置」の概念に焦点を当て、組織運営に必要なルール作成や成長サイクルの仕組み化についてご紹介いたします。

また、シリーズ150万部を突破したビジネス書「とにかく仕組み化」「数値化の鬼」「リーダーの仮面」から学ぶ成功事例を交え、歯科クリニックにおける人材育成/組織拡大に役立つ具体的な手法もご紹介します。

【講師プロフィール】

1981年、東京都生まれ。2005年、慶應義塾大学卒業。同年、シティバンク銀行入社後、2007年営業支援事業を行う、株式会社エッジコネクションを設立。
副社長としてさまざまな規模、業種の企業の営業支援や営業組織の立ち上げを経験するなかで、識学の代表取締役社長・安藤と出会う。
エッジコネクションに識学を導入するとともに、販売代理店としての機能も担う。その後より多くの人に識学を広めたいという思いもあり、株式会社識学が設立されたタイミングで取締役として参画する。

〔 セミナールーム1 ● 9:45－10:30 〕



成功する歯科衛生士採用の秘訣

森　聡 氏 ｜ 株式会社メドレー ジョブメドレー事業部コンサルティングセールス部 部長

医療業界の人材不足がさけばれており、特に歯科業界にいたっては医院数自体もほぼ横ばいの状況にも関わらず人材確保が難しい状況となっている。

そのような状況下では「どれだけ採用がうまくいくか」が重要なポイントとなっている。

【歯科業界の現状把握】
歯科業界全体の動き

【採用パターンの強み・弱み】
採用のチャネルの種類についてオンライン・オフラインの代表的なものとそれぞれの強み・弱みを解説

【ジョブメドレーでの現状】
当サイトでの直近の歯科衛生士の応募数や動きの状況の解説

【採用を成功（良く）させるための工夫】
当たり前のことからテクニックを解説

【講師プロフィール】

2005年 新卒で日系食品商社に入社。
その後2006年以降は約10年強を外資の金融→小売→ITと経験。
直近は2023年株式会社グッピーズに執行役員COOとしてジョインし、
2024年7月からは株式会社メドレーのコンサルティングセールス部の統括も担う。

〔 セミナールーム3 ● 14:30－15:15 〕



訪問歯科診療おもてなし向上「元年」

船山 高明 氏 ｜ 医療法人顕樹会 本田歯科クリニック 顕樹会訪問統括医長

医療の分野において、なぜ「おもてなし」や「生産性」が話題になるのでしょうか?そして、「おもてなし」は誰のために、何のために行うものなのでしょうか?

一般論として、医療において売上や生産性を上げるということは患者サービスを低下させると思われがちですが、そうならないためにはどのようにバランスを調整したらよいかなど、大学病院の立場でなく、診療所院長の見解でもない、ごくごく一般の勤務医の目線から発表いたします。

訪問歯科診療おもてなし向上について、工夫できることや選ぶべきアイテムなど、今までの経験・体験を交えながら、私なりの思うところをお話ししていきます。

訪問診療に携わる方々が受講されて、少しでも参考になるところがあれば幸いです。

【講師プロフィール】

- 1995年：岡山大学大学院歯学研究科博士課程修了（歯学博士）
- 同年病院歯科口腔外科勤務、歯科訪問診療も経験する
- その他、一般歯科診療所から、自費専門診療所、所謂準無医村地区診療まで、様々な形態の診療所に勤務した
- 診療以外では理化学研究所研究員やシステムエンジニアとして並列計算機運用管理業務等も経験した
- 2008年：医療法人顕樹会本田歯科クリニック勤務
- 分院施設管理者を兼任後、2018年より現職

〔 セミナールーム2 ● 9:30－10:15 〕



45分でわかる　連携関連の報酬

伊藤 友記 氏 ｜ 一般社団法人 日本訪問歯科協会

訪問診療を伸ばすには、「連携関連の報酬」の算定が不可欠です。
しかし、多くの歯科医院にとっては、どうしても苦手意識があるようです。
また、連携先が算定できる報酬についても理解しておくと、今後の展開がさらに有利になります。
この講演では訪問歯科に関わる連携関連の報酬を一気に確認していきます。

〔 セミナールーム2 ● 10:45－11:30 〕



診療報酬改定　新設項目の再確認

髙井 恵太 氏 ｜ 一般社団法人 日本訪問歯科協会

今回の改定は、診療報酬と介護報酬の同時改定のため、多岐に渡り複雑になっています。
そのため、一度説明を聞いただけでは、なかなか理解しにくいものです。
この講演では、新設項目の中でも、主な項目に絞って解説します。

〔 セミナールーム2 ● 14:15－15:00 〕



訪問歯科　管理料の研究

田中 貴秀 氏 ｜ 一般社団法人 日本訪問歯科協会

訪問診療で算定する管理料は複数あります。
それぞれの算定要件や併算定できない項目などについて、45分間でわかりやすく整理します。

〔 セミナールーム6 ● 10:45－11:30 〕



実習講座
摂食嚥下リハの実際

舘村　卓 氏 ｜ 一般社団法人TOUCH 代表理事

多様な原因によって生じた摂食嚥下障害への対応は、その原因と障害との関係に基づいてプログラムを構築することが必要ですが、いかなる原因であっても，その対応には共通して守るべき3つのキーフレーズがあります。

それは、
①呼吸路の安全性の確保
②口腔咽頭機能の賦活
③食物の調整　です。

呼吸路の安全性の確保に必要な3点セット（足底接地、体幹保持、うなずき頭位）をどのようにして作るのか、呼吸路の安全性が確保できた次に、どのような訓練を、どこに行えば口腔咽頭機能は賦活されるのか、口腔咽頭機能がどのようなレベルに達したらどのような食事が可能になるのかについて、相互実習を含めた体験型実習を行います。

【 講師プロフィール 】

〔 略　歴 〕
1975年 大阪大学歯学部卒業
1985年 大阪大学大学院歯学研究科修了（歯学博士）
1997年 イリノイ大学 口蓋帆咽頭（いわゆる鼻咽腔）閉鎖機能の共同研究
2000年 大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部　助教授兼副部長
2007年～2014年 大阪大学大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座 准教授
2007年11月～ 一般社団法人TOUCH 代表理事
2018年11月～ TOUCH口腔機能回復室（舘村歯科クリニック内）開設

〔 著　書 〕
- 摂食嚥下障害のキュアとケア 第2版（単著 医歯薬出版）
- 口腔ケアプログラムの作り方（単著 永末書店）
- 口蓋帆・咽頭閉鎖不全ーその病理・診断・治療（単著　医歯薬出版）
- 絶対知りたい義歯のこと（共著 医歯薬出版）
- 周産期医学必修知識　第9版（共著　東京医学社）
- 多職種協働チーム先制医療での口腔ケアFAQ50（共著 医歯薬出版）
- 歯科衛生士のための口腔機能管理マニュアル（共著 医歯薬出版）
- 理学療法士のための在宅療養者の診かた（共著 文光堂）
- 摂食嚥下リハビリテーション第3版（共著 医歯薬出版）
- DVDで学ぶ神経内科の摂食嚥下障害（共著 医歯薬出版）
- 誤嚥性肺炎ー抗菌薬だけに頼らない肺炎治療ー（共著 医歯薬出版）
- 新・口腔の生理から「どうして」を解く（共著 デンタルダイヤモンド）
- 神経・筋疾患　摂食・嚥下障害とのおつきあい（共著 全日本病院出版会）

〔 翻　訳 〕
- ゼムリン　言語聴覚学の解剖生理（単訳　医歯薬出版）
- 神経科学ーコミュニケーション障害理解のために第3版（単訳　医歯薬出版）
- 嚥下障害の臨床マネジメント（共訳　医歯薬出版）

〔 招聘教員・学会役員等 〕
- 大阪大学大学院、奈良県立医科大学、光華女子大学　日本リハビリテーション病院施設協会 医科歯科連携委員会委員

〔 専門医等 〕
- （社）日本口腔外科学会 指導医、顎顔面補綴学会 専門医、日本摂食嚥下リハビリテーション学会　認定士

〔 顧　問 〕
- 兵庫県川西市歯科医師会立訪問歯科センター 顧問
- 守口市歯科医師会 会友・顧問

〔 セミナールーム6 ● 9:30－10:15 〕



実習講座
スポンジブラシの選び方と使い方

齋藤 しのぶ 氏 ｜ 医療法人永寿会 恩方病院 歯科･歯科口腔外科 歯科衛生科長

口腔衛生管理は、口腔の機能を維持するだけでなく、誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防や、健康状態の維持･向上にもつながり、重要性が周知され、医療や介護の現場で安全な口腔衛生管理が求められている。

特に、口腔衛生管理のプロである歯科医師･歯科衛生士は、安全･確実な口腔衛生処置を行うため、スポンジブラシの選び方や使い方の習得は必須である。また、看護師･介護職員などより、スポンジブラシの適切な使用方法などについて、わかりやすくレクチャーして欲しいという需要が高まっており、多職種連携にもつながるため、対応できるスキルも必要である。

本実習講座では、スポンジブラシの選び方と使い方にフォーカスして解説しており、これまでの口腔衛生処置のレベルを超え、高品質でプロフェッショナルな口腔衛生管理を実施するために役立てて頂きたい実習となっている。

【講師プロフィール】

〔 略　歴 〕

1996年 日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校卒業
　　医療法人社団 隆美会 川口歯科診療所勤務
2008年 医療法人永寿会 陵北病院 歯科診療部勤務
2017年 医療法人永寿会 陵北病院 歯科診療部 主任
2018年 医療法人永寿会 陵北病院 歯科診療部 歯科衛生科長
2022年 現職

〔 セミナールーム6 ● 13:00－13:45 〕



実習講座
嚥下を促す表情筋マッサージ

平松 満紀美 氏 ｜ NPO法人健口サポート歯るる 副理事長

コロナが第5類になりましたが、マスク生活は続いています。コロナ禍、私たちも経験しましたが、マスクで顔を覆うことで表情筋の動きが少なくなり硬くなっている方が増えました。マスクのゴムで耳が前方に引っ張られ、その際耳のついている骨（側頭骨）が前方に引き寄せられ耳周辺がかなり疲れました。

表情筋は、動かさなければ筋肉が衰えてしまいます。表情筋は主に、口輪筋･頬筋･オトガイ筋など、嚥下運動に必要な筋力でありそのほか、口角を上に上げる筋肉（軽くほほ笑む）、口を横に広げる筋肉（口を開いて笑う）、眼の周りの筋肉（目をパッと開いたり、眉毛の上げ下げ）があります。硬くなった表情筋は、頬や口角が下がる、口も動かしづらくなり笑顔にならない。そうなると口腔機能の低下につながり、咬んだり飲み込んだりする嚥下機能も衰えてきます。

本講座では、口腔機能低下を防ぎ、嚥下を促す表情筋マッサージを解説いたします。

〔 略　歴 〕

- 瀬戸内総合学院　歯科衛生士学科卒
- ア歯科島田診療所、徳島県池田保健所、徳島県西部総合県民局を経て
  現在フリーランス

訪問口腔ケア担当歯科衛生士、口腔ケアセミナー･健口教室講師など

〔 所属学会および社会活動等 〕

- 公益社団法人 日本歯科衛生士会会員
- 一般社団法人 日本老年歯科医学会会員
- 歯科衛生士スタディグループ『歯っするメイト』代表
- 口腔ケアサポートグッズ『発するライト』考案
- 公益社団法人日本歯科衛生士会 生活習慣病予防（特定保健指導）認定
- 公益社団法人日本歯科衛生士会 在宅療養指導（口腔機能管理）認定
- 公益社団法人日本歯科衛生士会 摂食嚥下リハビリテーション認定
- 岡山大学 摂食嚥下リハビリテーション上級コース修了
- MDE認定 デンタルエステティシャン
- 一般社団法人TOUCH認定 口腔機能指導士

〔 文献等 〕

一般社団法人日本訪問歯科協会 訪問歯科衛生士単独訪問の実際
一般社団法人日本訪問歯科協会 DH肺炎を起こさないために　他多数
デンタルダイヤモンド社　DHstyle DHは進化する（2016年4月号）
デンタルダイヤモンド社　おひとりさま専門的口腔ケア（2018年 夏）

〔 セミナールーム6 ● 14:15ー15:00 〕



実習講座
機能評価をしながらおこなう口腔清拭

和田 ひとみ 氏 ｜ 口腔ケア支援グループ オーラルサポート 代表

私たち歯科衛生士が口腔ケアを行う場合、必ず口腔内の状況と同時に口腔周囲の状況も確認しているはずです。たとえば、口内の状態が乾燥していたらケア中にどのようなことが起きるでしょうか?口唇からの出血や粘膜面の損傷、開口するだけで口角が切れてしまう可能性もあります。痛みを伴うケアは、患者の精神的負担を増大させるだけでなく、私たちの行うケアが「不快なケア」になる場合もあるのです。

だからこそ、わたしは口腔ケアを行う際にすぐにハブラシやスポンジブラシなどの口腔ケア用具を使用せず、自分自身の指先で口内の状況を確認する。まずは口内の加湿をしながら口内の状況を評価する。このひと手間が「気持ちのよい口腔ケア」に繋がるのです。

口腔機能低下症など歯科衛生士が口腔機能に関わる機会は増えています。明日からの口腔ケアが「快適な口を作るケア」になるように、何が必要なのかを一緒に学ぶ機会になれば幸いです。

【講師プロフィール】

〔 現　職 〕
- 口腔ケア支援グループ「オーラルサポート」　フリーランス歯科衛生士
- 在宅訪問を中心に口腔ケアを行う
- 特別養護老人ホーム「やすらぎの園」非常勤歯科衛生士
- 特定医療法人財団大西会 介護老人保健施設「ひまわり」非常勤歯科衛生士
- 長野県歯科医師会 在宅連携室　非常勤歯科衛生士
- 介護施設等にて介護士向けの研修会講師
- 栄養士会、作業療法士会、各地域歯科医師会、歯科衛生士会等開催の研修会講師
- 長野摂食嚥下リハビリテーション研究会北信地区世話人
- 口腔ケア学会口腔ケアアンバサダー委員

〔 略　歴 〕

長野県公衆衛生専門学校卒業
2000年 宮本歯科医院勤務 訪問歯科診療を経験し、
　　歯科衛生士による単独訪問で口腔ケアに従事する
2007年 フリーランスとして、訪問、口腔ケアを中心に活動
京都まちづくり口元気塾&元気なお口研究会まほろば主催の研修会にて
歯科衛生士が実践する「口腔機能評価、訓練」を学ぶ
口腔ケア支援グループ　オーラルサポートとして口腔ケアの普及に努める
長野摂食嚥下リハビリテーション研究会世話人
口腔ケアアンバサダー委員

1〔 セミナールーム4 ● 13:00ー13:45 〕　2〔 セミナールーム4 ● 14:15ー15:00 〕



実習講座
診療情報提供書の書き方・読み方1、2

深山 治久 氏 ｜ 東京科学大学　名誉教授

歯科治療を始める前に患者さんの主訴を聞き取り、口腔内の診査・検査をした後に診断し、治療計画を立案し、患者さん（家族）の了解を得てその上で処置に取り掛かるのは、訪問診療でも外来診療でも同じです。ただし、その患者さんは何か理由があって外来に来られない方なのは言うまでもありません。通院できない理由としては、脳卒中や心疾患などの循環器疾患、慢性閉塞性肺疾患（COPD）のような呼吸器疾患、認知症などの精神疾患がほとんどと思われます。

このような歯科疾患以外の全身の状態を予め知っておくことは、安全で円滑な処置のために必要不可欠です。本人から聞き出すのが難しいことも多い既往歴や疾患の情報を得るためには、診療情報提供書（対診書）を介して医科担当医に照会する必要があり、それに対する返書内容を理解しなければなりません。

そこで、この講座では文書を実際に書いて何を問い合わせるかなどのコツを学び、同時に返書の重要な点、薬剤情報などの読み取り方を実習していただきます。

【講師プロフィール】

〔 学　歴 〕

1981年3月 東京医科歯科大学歯学部歯学科卒業
1981年4月 東京医科歯科大学大学院歯学研究科入学（歯科麻酔学専攻）
1985年3月 東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了（歯科麻酔学専攻）

〔 職　歴 〕

1985年4月 東京医科歯科大学歯学部附属病院医員（歯科麻酔科）
1986年4月 東京医科歯科大学歯学部附属病院助手（歯科麻酔科）
1989年3月 米国カリフォルニア大学ロスアンジェルス校（UCLA）リサーチフェロー
（1991年9月まで）
1998年4月 東京医科歯科大学歯学部附属病院学内講師（歯科麻酔科）
2000年4月 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 麻酔・生体管理学 助教授
2004年4月 鶴見大学 歯学部 歯科麻酔学講座 教授
2010年4月 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 麻酔・生体管理学 教授
2020年4月 東京医科歯科大学 名誉教授

〔 資　格 〕

1981年6月 歯科医師免許（第83797号）
1985年9月 日本歯科麻酔学会 認定医
2005年1月 日本歯科麻酔学会 歯科麻酔専門医
2005年6月 日本障害者歯科学会 認定医

出展企業一覧

会場案内（3・4ページ）の出展ブース番号順になります

出展企業	ご紹介商品と商品概要
①クロスログ株式会社 TEL 050-3528-8040 福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-27 第16岡部ビル5階	●訪問診療スケジュール管理ソフト「CrossLog」 訪問歯科のスケジュール・情報管理が楽になる。
②サンシステム株式会社 TEL 03-5816-6753 東京都千代田区外神田6-10-6 SSビル	●Sunny-NORIS Cloud 訪問先やご自宅からカルテ入力やレセプト業務をしてみませんか?
③ワシエスメディカル株式会社 TEL 03-3815-7682 東京都文京区本郷2-31-8	●PENTAX内視鏡、アンブビデオスコープ、AGOキャップ 嚥下内視鏡検査（VE）に関連する器材を展示しております。
④株式会社セルフメディカル TEL 06-6908-4131 大阪府門真市柳町6番3号	●ポセイドン、クリアファイバースマートPix iPad、スマホが口腔内撮影装置に!「スマートPix」etc
⑤川本産業株式会社 TEL 06-6943-8961 大阪府大阪市中央区谷町2-6-4	●マウスピュア 充実したラインナップで毎日の口腔ケアをトータルサポートします。
⑥大和製罐株式会社 TEL 03-6212-9744 東京都千代田区丸の内2-7-2	●エバースマイル、ムース食、とろみ飲料 舌でつぶせるムース食（和洋中35品）ととろみ付飲料をご紹介。
⑦S・Metal Service TEL 08-2521-1360 広島県広島市安佐南区毘沙門台1-26-31	●歯科関係貴金属の分析買取 蛍光X線による貴金属（歯科材・宝飾）の乾式分析。
⑧株式会社モリタ TEL 06-6338-7241 大阪府吹田市垂水町3-33-18	●可搬式歯科用ユニット Portacube ＋ 他 軽い簡単快適がコンセプト! 一体型でコンパクトな訪問用ユニット。
⑨株式会社ナコム TEL 072-870-5305 大阪府東大阪市加納5-2-8	●介護食 最幸のやわらぎ 見た目と美味しさにこだわったとろみソース入り冷凍介護食です。
⑩株式会社ストランザ TEL 03-6403-4880 東京都港区新橋6-17-21 住友不動産御成門駅前ビル3F	●Apotool & Box 予約管理を中心として業務効率化を実現するクラウド型システム。
⑪株式会社アレナビオ TEL 090-7942-1089 東京都千代田区神田猿楽町2-8-11VORT水道橋Ⅲ 4階	●ちそうごはん 食の選択肢が限られた時こそ「ちそうごはん」でおいしいおうち介護。
⑫横浜金属商事株式会社 TEL 02-2226-7704 宮城県仙台市太白区秋保町長袋字上原10-1	●歯科用リサイクル 歯科用貴金属の買取、純金積立、歯科貴金属リサイクルに係る産廃回収。
⑬株式会社ヨシダ TEL 03-3845-2918 東京都台東区上野7-6-9	●口腔内細菌カウンタ、口腔機能モニター Oramo-bf、見る菌 等 訪問歯科先で活躍する様々な検査機器、ケア製品を出展します。
⑭株式会社メドレー TEL 050-1751-0849 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー（13階）	●Dentis 業務効率化と患者とのつながり強化を支援するクラウド型レセコン。
⑮株式会社松風 TEL 07-5561-1182 京都府京都市東山区福稲上高松町11	●PRG プロケアジェル 、PRGバリアコート、ビューティシーラント マルチイオンによる予防機能に特化したバイオアクティブ製品群。

出展企業	ご紹介商品と商品概要
⑯アース製薬株式会社 TEL 03-6375-8131 東京都千代田区神田司町2-12-1	●歯科医院専売モンダミンハビットプロ、N.actオーラルリムーバルジェル 医療の現場の声から生まれたプロユース向けのアース製薬商品です
⑰ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社 TEL 03-6408-4182 東京都品川区北品川4丁目7-35御殿山トラストタワー13階	●DEXIS™ IS 3700 高速スキャン／リファイン、高画質のバランス重視口腔内スキャナ
⑱株式会社CARESソリューションセンター TEL 03-6433-2280 東京都品川区南品川2丁目2-5REID-C南品川ビル4F	●ミリングマシン PolyFlex（ミリングマテリアル）等 ノンクラスプデンチャー用のPolyFlexや切削機の展示
⑲デンタルプロ株式会社 TEL 07-2920-6077 大阪府八尾市若林町2-58	●舌ブラシ・ハブラシ 舌専用ブラシや効率的な部分磨きが出来るハブラシを中心に展示
⑳日本アイ・エス・ケイ株式会社 TEL 02-9869-2001 茨城県つくば市寺具1395-1	●かれんEZ 完全オールインワン設計。かれんシリーズの最新機種です。
㉑デキシコウインジャパン株式会社 TEL 07-8304-5311 兵庫県神戸市中央区港島南町5-5-2 KIBC364号室	●デキシコADX4000W、デキシコDX3000 着脱式バッテリーを採用した、ポータブルX線撮影装置です。
㉒アサヒグループ食品株式会社 TEL 080-8035-9173 東京都墨田区吾妻橋1-23-1 アサヒグループ本社	●口腔ケア商品オーラルグラス　介護食品バランス献立 アサヒの口腔ケア商品と介護食で、質の高い在宅ケアを実現。
㉓株式会社ジーシー昭和薬品 TEL 03-5689-1580 東京都文京区本郷一丁目28番34号 本郷MKビル1階	●フロリードゲル経口用2%、オラブリス関係、オラリンスHF、ヒノペリオPHF、ヒノペリオナイトケア、オーラスター 口腔カンジダ症治療薬やフッ化物洗口剤等を展示させて頂きます。
㉔株式会社エラン TEL 03-6281-9815 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント6F	●口腔内スキャナー、及び歯科補綴物サンプル模型の展示 歯科用の口腔内スキャナー、及び歯科補綴物サンプル模型の展示。
㉕株式会社ETE TEL 050-3593-2063 東京都渋谷区神宮前5-39-1-2F	●えんげくん EMSを使用した舌骨上のトレーニング器具。
㉖株式会社エントラスト TEL 02-2726-5655 宮城県仙台市青葉区国分町1-8-14 仙台協立第2ビル2F	●ホームページ 歯科医院を専門にホームページを制作しております。
㉗株式会社 soeasy TEL 03-6228-1647 東京都千代田区神田小川町3-28-5 axle 御茶ノ水 2F P208	●soeasy buddy for dental 院内の効率・生産性向上に。超簡単動画マニュアル&SNSツール
㉘株式会社GENOVA TEL 0120-811-099 東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ34	●医療メディア 医療情報や医院を検索できるメディア、メディカルドック。
㉙ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社 TEL 0196357750 岩手県盛岡市本宮6丁目24-43	●弊社オリジナル製品（ディスポ製品、グローブ等） ヘンリーシャインジャパンイースト㈱オリジナルグローブ等
㉚大作商事株式会社 TEL 03 - 5219 - 1111 東京都千代田区大手町一町目5番1号大手町ファーストスクエアイーストタワー17F	●市販歯ブラシ用音波振動アダプター「ソニックオール（sonic all）」 市販の歯ブラシを音波振動化。タフトブラシや舌ブラシ等にも対応

協賛企業一覧

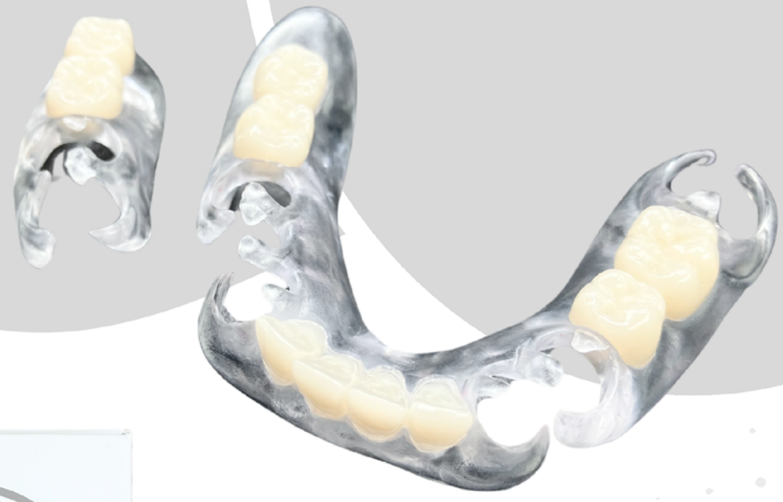
協賛企業	ご紹介商品と商品概要
株式会社ノーザ TEL 05-2332-0327 愛知県名古屋市中区金山1-2-2熊田第二ビル6F	●チョキペイ 院内・院外どちらでも使用できるキャッシュレスサービスです。
医歯薬出版株式会社 TEL 03-5395-7600 東京都文京区本駒込1-7-10	●書籍：訪問歯科経営入門 訪問歯科を立ち上げ、利益を出すための経営ノウハウを一冊に凝縮。
日本歯科薬品株式会社 TEL 08-3222-2221 山口県下関市竹崎町4-7-24-6F	●お口を洗うジェルAZ 無香料・薬用成分配合の口腔ケアジェルを新発売しました。
株式会社mil-kin TEL 03-6262-5333 東京都江東区青海2-7-4 the SOHO 1207	●携帯形微生物観察器「見る菌」C-Type 訪問先で口腔細菌やカンジダ菌をリアルに"見える化"できます。
リコーリース株式会社 TEL 03-6204-0672 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニ ガーデンコート14F	●リコーリースの口座振替サービス 訪問診療費の回収に利用可能。クリニックの導入実績多数あり。



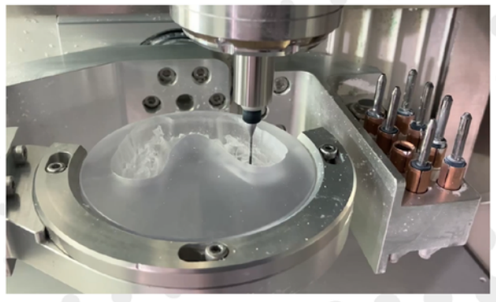
CARES
Solution Center

CAD/CAM Solution

POLY FLEX



DIGITAL SOLUTION FOR NON-CLASP DENTURE BITE SPLINT



- 歯科用CAD/CAMマテリアル
- 弾性の高い素材
- ノンクラスプデンチャーの製作が可能
- 30日以上の長期的使用が可能なディスク型のスプリント材料として国内初の認証

※2024年4月1日現在、国内で販売されているミリングマシンで製作するディスク型材料を対象とした製品として国内初認証（自社調査）

Follow me!

CSC_JAPAN

製造販売元／販売元
CARES Solution Center
株式会社CARESソリューションセンター
〒140-0004　東京都品川区南品川2-2-5 REID-C南品川ビル4F
お問い合わせ先
株式会社CARESソリューションセンター
03-6433-2280　03-6433-2021　0120-03-2280
www.cares-sc.jp　info@cares-sc.jp

PolyFlex

製品特徴は
こちらから

POLY FLEX

販売名：ポリフレックス
医療機器分類：管理医療機器
一般的名称：義歯床用熱可塑性レジン
歯科切削加工用レジン材料
歯科用長期的使用咬合スプリント向け材料
医療機器製造販売認証番号：305AKBZX00083000

NHOSA ノーザ



訪問診療で便利な キャッシュレス決済

チョキペイ
小さな感動を、もっと。

業界最低水準の決済手数料率
1.79%
（VISA/Mastercard の場合）

- おつりを用意する必要がありません
- コンパクトでコードレス（プリンタ内蔵）
- モバイル型なので院内 / 院外の双方で利用可能
- マルチ決済対応（クレジット、電子マネー、QR 決済）

院内利用の端末がそのまま訪問先で使えます。

※WiFi やテザリング等の通信環境設定が必要です。



お申込み、お問い合わせは最寄りのノーザ各支店まで

NHOSA ノーザ
〒164-0011 東京都中野区中央1-21-4 ノーザビル　ノーザ　検索　https://www.nhosa.com
TEL 03-5348-1881（代）　FAX 03-5348-1885　E-mail：sales@nhosa.co.jp

北海道支店	TEL. 011-209-0027	神奈川支店	TEL. 045-909-5781	神戸支店	TEL. 078-367-5801
茨城支店	TEL. 029-233-2882	静岡支店	TEL. 054-205-6900	広島支店	TEL. 082-293-7618
埼玉支店	TEL. 048-645-2821	金沢支店	TEL. 076-223-5010	福岡支店	TEL. 092-474-1777
千葉支店	TEL. 043-204-9300	名古屋支店	TEL. 052-332-0327		
東京支店	TEL. 03-5348-3381	大阪支店	TEL. 06-6442-7812		

20240924A

訪問歯科を事業として立ち上げ，
利益を出すための経営ノウハウを一冊に凝縮！



訪問歯科経営 入門

スタートアップのための考え方と仕組み

小柳 岳大 著

■ A5判 ／ 128頁 ／ 2色刷り
■ 定価 4,950円（本体 4,500円+税10%）
■ ISBN978-4-263-44745-1
■ 注文コード：447450

詳しい内容は
二次元コードの
リンク先から！

- 高齢者の人口は増え続け，訪問歯科の需要はいっそう高まっているはずなのに，“なぜか訪問歯科は利益が出ない”となったりしていませんか？
- 訪問歯科で利益を出すには，外来とは異なる独自の経営手法を理解する必要があります．本書では，歯科医院を開業した筆者が，さらに訪問歯科をゼロから立ち上げ，築き上げた経営ノウハウをわかりやすく解説．



こんな方にオススメ!!

1 歯科医院を開業していて，訪問歯科にも取り組みたい方

2 訪問歯科はすでに取り組んでいるが，継続的な事業としたい方

3 人材の確保や育成を含めて，事業としての訪問歯科を拡大したい方

医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
TEL03-5395-7630　FAX03-5395-7633　https://www.ishiyaku.co.jp/

NEW

NISHIKA

お口の汚れを
軟化させて
からめとる。



無香料
＋
薬用
・GK2※1［抗炎症成分］
・CPC※2［ 殺菌成分 ］
新登場!

口腔ケア用ジェル

お口を OKUCHI WO ARAU GEL 洗うジェル AZ

うるおい成分
・アズレン※3
・ヒアルロン酸Na※4
配合

医薬部外品［内容量：希望小売価格（税別）］80g：1,700円／25g：770円

※1：グリチルリチン酸ジカリウム　※2：塩化セチルピリジニウム　※3：グアイアズレンスルホン酸ナトリウム　※4：ヒアルロン酸ナトリウム(2)

NISHIKA 日本歯科薬品株式会社
本社 山口県下関市竹崎町4-7-24 〒750-0025・営業所　大阪・東京・福岡
お問合せ・資料請求《お客様窓口》0120-8020-96
NISHIKAホームページ https://www.nishika.co.jp/

N-1

Bacteria Self-checker
mil-kin®

「見る菌®」で口腔細菌・真菌の“見える化”

口腔ケア

のコミュニケーションツール



ポケットにも入る顕微鏡！

カンジダ菌の検査

スマホ画面で観察可能

操作が簡単

単三電池2本 コードレス

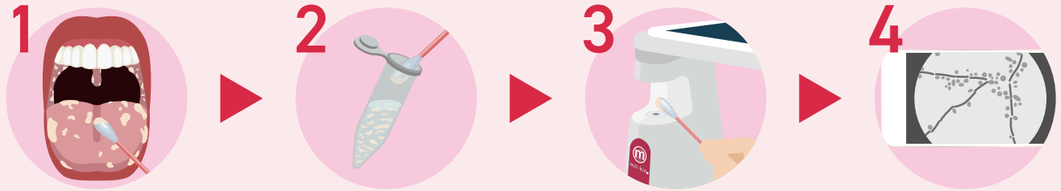
ランニングコストが低い

コンパクト & 軽量



スマホの画面はイメージです。

簡単 使い方4STEP



＼ 多職種連携での勉強会でも大活躍！／



株式会社 mil-kin
https://www.mil-kin.com
お問い合わせは、歯科ディーラー様へ

「見る菌®」で見た菌の動画を今すぐチェック！

ご参加お待ちしております！

口腔から全身の健康を科学する
東京デンタルショー2024
TOKYO DENTAL SHOW
11.16(土)・17(日) 東京ビッグサイト 東1・2ホール

生涯研修セミナー
11.16 (土)
セミナーA会場

木森 久人 先生
医療法人社団八州会
あしがら西湘歯科診療所　院長

メッセージ

歯科訪問診療の現場において、口腔カンジダ症は疑うことはあっても確定診断を下すことは難しいことが多いです。
今回は臨床現場で短時間に診断する方法についてお話しいたします。

リコーリースより
訪問歯科クリニック様へご提案

リコーリース株式会社
RICOH LEASING COMPANY, LTD.

訪問診療の治療費請求 こんなお悩みありませんか？

- 集金のための交通費や 人手不足で手間がかかる！
- 現場で現金回収しているが 盗難や紛失が心配…
- 毎回期日通りに 回収できなくて困る！

お客様の口座から代行回収 「口座振替」を いたします



初期導入費用0円！
費用発生は ご請求月から

請求件数１件からOK！
開業当初から ご利用可能

個人契約も可能！
個人事業主様でも 導入可能

専用のフリーダイヤルをご用意。導入後も安心のサポート体制

クリニック様向け口座振替サービス**ご優待価格**を準備しております

詳細お問合せは下記 TEL、URL もしくは QR コードから！
キャンペーンコード「RL2411」を必ずお伝えください！

https://www.rl-shukin.jp/lp_shukin03/
リコーリース株式会社　東京都千代田区紀尾井町 4-1　ニューオータニガーデンコート 14F
ＢＰＯ本部　那須田
TEL：0120-727-702　受付時間：平日 9:00 ～ 17:00

〈実行委員〉

学会長	野坂 洋一郎	岩手医科大学名誉教授
副学会長	小豆嶋 正典	岩手医科大学名誉教授
	城　茂治	岩手医科大学名誉教授
実行委員長	守口　憲三	一般社団法人 日本訪問歯科協会 理事長　守口歯科クリニック 院長
実行委員	二木　由峰	一般社団法人 日本訪問歯科協会 中国ブロック長　医療法人社団峰良会 理事長
	近藤 公一郎	一般社団法人 日本訪問歯科協会 北日本ブロック長　近藤歯科医院 院長
	坂口　豊	一般社団法人 日本訪問歯科協会 関東ブロック長　坂口歯科医院 院長
	桐山　立志	一般社団法人 日本訪問歯科協会 中部ブロック長　医療法人桐華会 桐山歯科医院 理事長
	西村　有祐	一般社団法人 日本訪問歯科協会 関西ブロック長　医療法人祐愛会西村歯科 理事長
	今井　洋一	一般社団法人 日本訪問歯科協会 四国ブロック長　医療法人 いまい歯科医院 理事長
	青山　修	一般社団法人 日本訪問歯科協会 九州ブロック長　医療法人社団 秀歌会 青山歯科医院 理事長
	木川　仁志	一般社団法人 日本訪問歯科協会 監事　キカワ歯科医院 院長

〈運営〉 一般社団法人 日本訪問歯科協会 事務局

一般社団法人
日本訪問歯科協会 事務局　〒101-0037 東京都千代田区神田西福田町４ ONEST 神田西福田町ビル8F　TEL 0120-299-505

第24回
日本訪問歯科医学会

ひろがる笑顔　訪問歯科の未来



©2024 一般社団法人 日本訪問歯科協会